

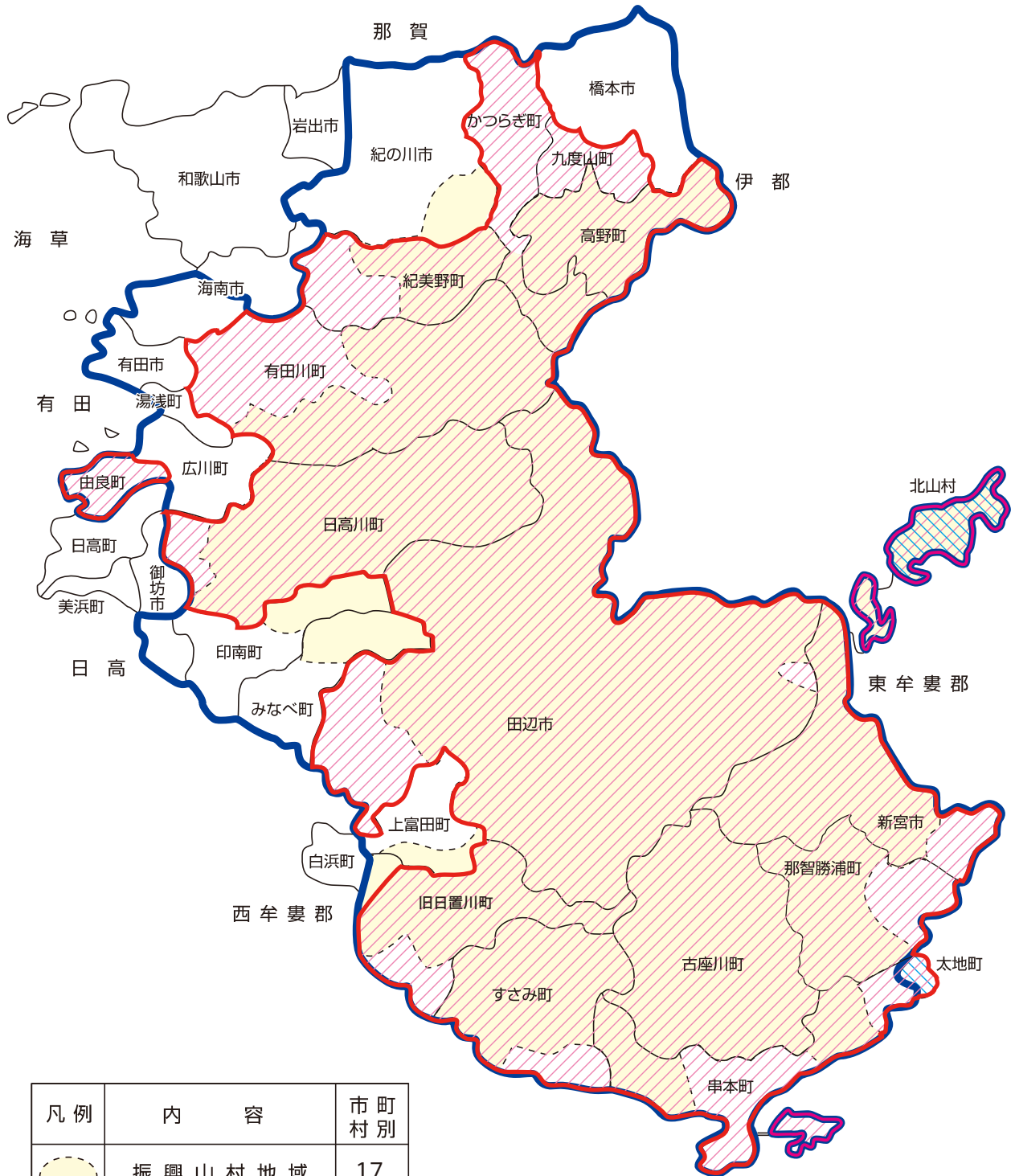
和歌山県の農林水産業



平成23年4月

和歌山県農林水産部

和歌山県の市町村



凡例	内 容	市 町 村 別
	振興山村地域	17
	過疎地域市町村	16
	農振法対象外地域	2
	特定農山村地域	25

平成23年4月1日現在

※特定農山村地域のうち、

海南市（旧下津町）、御坊市（旧名田村）、白浜町（旧北富田村、旧東富田村、旧日置川町）は一部指定

目 次

利用にあたって	1
I 和歌山県の農林水産業の特徴	3
1 和歌山県農林水産業の主要指標	3
2 和歌山県の農業の特徴	
1) 農業産出額の構成及び生産農業所得	4
2) 本県基幹作物の全国シェア	5
3 和歌山県の林業の特徴	
1) 森林資源	6
2) 民有林の森林資源の概況	6
3) 林家の構成	6
4 和歌山県の水産業の特徴	
本県の主な漁業生産の全国シェア	7
II 和歌山県の農林水産業の動向	8
1 農業部門	
1) 農業指標	8
2) 農業を担う人々	9
3) 耕地面積	10
4) 農業生産	12
5) 農業所得と農業産出額	27
6) 農業農村整備事業の基盤整備状況	30
2 林業部門	
1) 林業を担う経営体（林業経営体）	31
2) 森林資源・林業生産基盤	32
3) 林業生産	34
4) 林業所得と林業産出額	38
3 水産部門	
1) 水産業を担う人々	39
2) 水産業の基盤	40
3) 水産業の生産	41
4) 主な魚種別漁獲量・生産額の推移	42
III 農林水産関係施策を行っている主な課室	43

利用にあたって

I) 本資料は、公表されている最新の数値を基本に、和歌山県の農林水産業の概要を示したものです。

II) 公表されている数値の最新年次が全国と和歌山県で異なるなどのため、囲み掲載している「本県農林水産業の全国における位置」等、数値と本編の数値が一致しないものもあります。

III) 数値等の出典は図の下に () 書きで示しています。

ただし、「本県農林水産業の全国における位置」は農林水産省統計表に基づいています。また、単位未満の数値は四捨五入、あるいは下記のとおり四捨五入を行っている調査もあるため、内容の計は必ずしも合計と一致しません。

桁 数		7 桁 以 上	6 ～ 5 桁	4 桁	3 桁 以 下
四捨五入の方法		100の位を 四捨五入	10の位を 四捨五入	1の位を 四捨五入	四捨五入 しない
例	四捨五入前	1,234,567	123,456	1,234	123
	四捨五入後	1,235,000	123,500	1,230	123

IV) 本資料で使われている主な統計用語は、次のとおりです。

(1) 農家とは……経営耕地面積が10アール以上であるか又は過去1年間の農産物販売金額が15万円以上あるかのどちらかの要件を満たしている世帯。

(2) 販売農家とは……経営耕地面積30アール以上又は農産物販売金額50万円以上の農家。

単一経営農家 農産物の1位部門の販売金額が全体の80%以上を占める農家

複合経営農家 単一経営以外の農家で1位部門の販売金額が農産物総販売額の60%未満の農家

準単一複合経営農家 複合経営のうち1位部門の販売金額が農産物総販売額の60%以上80%未満の農家

(3) 自給的農家とは……経営耕地面積30アール未満でかつ農産物販売金額50万円未満の農家。

利用にあたって

- (4) 基幹的農業従事者とは…自家農業に主として従事した世帯員のうち、普段農業に従事することを主としている者。
- (5) 農業専従者とは……………自家農業に従事している者であり、自家農業に従事した日数が150日以上の方。
- (6) 農家所得 = 農業所得 (農業粗収益から農業経営費を差し引いたもの) + 農外所得 (農外収入から農外収入をあげるために要した費用を差し引いたもの)
- (7) 生産農業所得 = 農業総産出額 × 所得率 + 農業生産に関わる経常補助金
- (8) 農業産出額とは……………農業生産活動による最終生産物の総生産額であり、市町村別の農産物別生産数量に市町村別農産物別農家庭先価格を乗じて算出したもの。市町村を推計単位としている。
- (9) 林業経営体とは……………次のいずれかに該当する事業を行う者。
- ① 権原に基づいて育林又は伐採を行うことができる山林の面積が3ha以上の林業 (「森林施業計画」を策定している者又は、5年間継続して林業を行い、育林又は伐採を実施した者に限る。)
 - ② 委託を受けて行う育林若しくは素材生産又は立木を購入して行う素材生産の事業 (素材生産については、1年間に200m³以上の素材を生産した者に限る。)
- (10) 林業就業者とは……………15歳以上で特定の1週間の間に林業に従事した者。
- (11) 上記のうち主として林業に就業している者とは……主に勤務や自営により林業の仕事をしていた場合。
- (12) 生産林業所得 = 林業産出額 × 所得率
- (13) 漁業経営体とは …………… 利潤または生活の資を得るために生産物 (海面養殖業の収穫物を含む) を販売することを目的として海面において水産動植物の採捕又は養殖の事業を行った世帯または事業所をいう。ただし海上作業従事日数が年間30日未満の個人経営体は除く。
- 個人経営体 年間30日以上個人経営で海面漁業を営んだ漁業経営体。
- (14) 漁業就業者とは……………漁業世帯の世帯員のうち、満15歳以上で過去1年間に海上作業に30日以上従事した者。
- (15) 漁業生産額とは……………年内に生産された水産物の総量に産地卸売価格を乗じて算出したもの。

I 和歌山県の農林水産業の特徴

1 和歌山県農林水産業の主要指標

	農 業			林 業			水 産 業			
担 う 人 々	農 家	平22.2.1 戸 33,799	% 100.0	林 家	平22 戸 12,145					
	販 売 農 家	平22.2.1 23,207	68.7	林 業 経 営 体	平22 経営体 2,650	漁 業 経 営 体	平20 経営体 2,513			
	自 給 農 家	平22.2.1 10,592	31.3				う ち 個 人 経 営 体	平20 経営体 2,403		
	専 業 農 家	平22.2.1 9,644	28.5							
	一 種 兼 業	平22.2.1 3,854	11.4							
	二 種 兼 業	平22.2.1 9,709	28.7							
	基幹的 農業従事者	平22.2.1 人 36,121		林 業 就 業 者	平17 人 1,021	漁 業 就 業 者	平20 人 3,922			
	農業専従者 (販売農家)	平22.2.1 29,033		う ち 主 として 林 業 に 就 業 して いた 者	830	う ち 自 営 漁 業 就 業 者	平20 2,521			
基 盤	耕 地	平21 ha 35,600	% 100.0	森 林 面 積	平22.4.1 ha 363,341	漁 船	平22 隻 5,636	% 100.0		
	水 田	平21 10,700	30.1	民 有 林	平22.4.1 345,801	% 95.2	ジ ー ゼ ル	平22 3,937	% 69.9	
	樹 園 地	平21 22,300	62.6	人 工 林	平22.4.1 209,541	60.6				
	普 通 畑	平21 2,530	7.1	天 然 林	平22.4.1 131,004	37.9				
	耕 地 利 用 率	平21 %	91.9	人 工 林 ha 当 蓄 積	平22.4.1 m³ 361					
	所 得	農 家 所 得 一 戸 当 り	平21 千 円 2,548	% 100.0						
農 業 所 得		平21 1,250	49.0							
農 外 所 得		平21 1,298	50.9							
生 産 農 業 所 得		平21 億 円 282		生 産 林 業 所 得	平21 百 万 円 2,400					
産 出 額	農 業 産 出 額	平21 億 円 927	% 100.0	林 業 産 出 額	平21 百 万 円 3,660	% 100.0	漁 業 生 産 額	平21 百 万 円 14,053	% 100.0	
	米	平21 82	8.8	木 材	平21 1,790	48.9	魚 類	平21 8,196	58.3	
	果 実	平21 520	56.1	木 炭	平21 710	19.4	水 産 動 物 類	平21 1,314	9.4	
	う ち み かん	平21 184	19.8	特 用 林 産 物	平21 1,170	32.0	海 産 ほ 乳 類	平21 129	0.9	
	う ち う め	平21 130	14.0				貝 類	平21 241	1.7	
	野 菜	平21 161	17.4				海 藻 類	平21 164	1.2	
	花 き	平21 54	5.8				海 面 養 殖	平21 4,009	28.5	
	畜 産	平21 58	6.3							

〔利用上の注意〕

農家調査は販売農家を抽出単位とし、センサスで確定された経営組織区分と県内農業地域に基づき部分母集団を設定した上で、部分母集団別に系統抽出された農家を対象とする標本調査であるため、その調査結果は推計による県計値となる。

(農林業の平成22年2月1日現在の数値は、2010年世界農林業センサスより)

(水産業を担う人々の数値は2008年 漁業センサス、漁船の数値は「県漁船統計表調」より)

2 和歌山県の農業の特徴

1) 農業産出額の構成及び生産農業所得

和歌山県の農業産出額の構成は全国・近畿とは大きく異なり、果実の構成比が56.1%と半分以上を占め果樹農業に特化している。

全 国 畜産>野菜>米 >果実>花き

近 畿 米 >野菜>畜産>果実>花き

和歌山 果実>野菜>米 >畜産>花き

単位：億円、%

平成 21 年	和 歌 山 県		近 畿		全 国		全国シェア
	金 額①	構成比	金 額	構成比	金 額②	構成比	(①/②)
農業産出額	927	100	4,379	100	80,491	100	1.2
米	82	8.8	1,217	27.8	17,950	22.3	0.5
野 菜	161	17.4	1,130	25.8	20,331	25.3	0.8
果 実	520	56.1	690	15.8	6,751	8.4	7.7
花 き	54	5.8	186	4.2	3,330	4.1	1.6
畜 産	58	6.3	865	19.8	25,096	31.2	0.2
そ の 他	52	5.6	289	6.6	7,034	8.7	0.7
生産農業所得	282		1,330		27,146		1.0

2) 本県基幹農作物の全国シェア（全国5位以内）

果樹ある王国「わかやま」

平成21年産出額全国順位

う め 1 位（全国シェア 57.5%）

か き 1 位（全国シェア 20.1%）

みかん 2 位（全国シェア 14.2%）

も も 3 位（全国シェア 9.7%）

単位：億円、%

平成 21 年 農作物名	産出額		全国シェア	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
	和歌山県 (億円)	全 国 (億円)						
み かん	184	1,292	14.2	愛 媛	和歌山	静 岡	熊 本	佐 賀
う め	130	226	57.5	和歌山	群 馬	神奈川 (3位)	福 井 (3位)	埼 玉
か き	72	358	20.1	和歌山	奈 良	福 岡	岐 阜	愛 知
え ん ど う	29	201	14.4	和歌山	鹿 児 島	愛 知	北 海 道	福 島
す も も	7	67	10.4	山 梨	長 野	和歌山	福 島 (4位)	山 形 (4位)
キウイフルーツ	9	92	9.8	愛 媛	福 岡	和歌山	神奈川	静 岡
し し と う	4	65	6.2	高 知	千 葉	和歌山	宮 崎	徳 島
も も	44	454	9.7	山 梨	福 島	和歌山	長 野	岡 山

※全国で産出額が50億円以上の品目で、本県が5位以内のもの（平成21年生産農業所得統計）

※本編での「えんどう」とは、うすいえんどう、きぬさやえんどう、オランダを合算したものである。

3 和歌山県の林業の特徴

森林資源の概況

和歌山県の森林面積は363,341ha、森林率は77%で全国第7位。その内、民有林面積は345,801haで95%を占める。

林家

2010年現在の林家数は12,145戸であるが保有林5ha以下の林家が全体の71.4%を占める。（ここでの林家とは保有山林面積が1ha以上の世帯）保有山林規模100ha以上の林家では、林家数の1.0%を占めるにすぎないが、保有面積で35.9%を占めている。

1) 森林資源 ～民有林を主とした森林資源の維持造成～

	全 国 %	和歌山 %	順位	全 国 順 位 (上位5道府県)				
				1位	2位	3位	4位	5位
森 林 率	66.4	76.9	7位	高 知	岐 阜	島 根	長 野	山 梨
人 工 林 率	41.2	60.8	10位	佐 賀	高 知	愛 知	福 岡	三 重
国 有 林 率	30.6	4.8	42位	青 森	北 海 道	山 形	秋 田	群 馬
民 有 林 率	69.4	95.2	6位	山 梨	大 阪	京 都	山 口	奈 良

(林野庁計画課「森林資源表」平成19.3.31現在)

2) 民有林の森林資源の概況 ～人工林の蓄積は、全国屈指の資源量～

単位：千ha、千m³

	全 国	和歌山	順位	全 国 順 位 (上位5道府県)				
				1位	2位	3位	4位	5位
人 工 林 面 積	7,983	210	15位	北 海 道	岩 手	長 野	岐 阜	高 知
人 工 林 蓄 積	2,227,696	73,696	9位	北 海 道	岩 手	高 知	熊 本	宮 崎
うちスギ	1,337,719	35,808	16位	秋 田	宮 崎	大 分	熊 本	岩 手
うちヒノキ	488,028	36,445	2位	岐 阜	和歌山	高 知	熊 本	静 岡

(林野庁計画課「森林資源表」平成19.3.31現在)

【参考】北海道の人工林は、カラマツ・トドマツ・エゾマツを中心とした資源構成。

3) 林家の構成

～小規模林家による森林所有と大規模森林所有者による林業経営～

保有山林面積規模別林家数と面積（和歌山県）

単位：戸、ha、%

	累 計	1～3	3～5	5～10	10～20	20～50	50～100	100以上
林 家 数	12,145	6,400	2,273	1,677	957	571	150	117
構成比	100.0	52.7	18.7	13.8	7.9	4.7	1.2	1.0
面 積	104,453	10,493	7,965	10,815	12,127	15,846	9,726	37,481
構成比	100.0	10.0	7.6	10.4	11.6	15.2	9.3	35.9

(2010年世界農林業センサス)

保有山林面積規模別林家数と面積（全国）

単位：戸、ha、%

	累 計	1～3	3～5	5～10	10～20	20～50	50～100	100以上
林 家 数	906,805	520,123	160,563	119,292	64,163	32,509	6,797	3,358
構成比	100.0	57.4	17.7	13.2	7.1	3.6	0.7	0.4
面 積	5,212,559	851,646	571,675	775,994	825,595	904,568	434,883	848,198
構成比	100.0	16.3	11.0	14.9	15.8	17.4	8.3	16.3

(2010年世界農林業センサス)

4 和歌山県の水産業の特徴

本県の主な漁業生産の全国シェア

南北に長いリアス式海岸線を擁する和歌山県では、各地で沿岸・沖合漁業を中心に多種多様な漁業が営まれている。

1) 漁業種類別漁獲量

単位：トン、%

平成21年 区分	漁業種類別 漁獲量		全 国 シェア	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
	和歌山県	全 国											
ひき縄釣	1,710	22,915	7.5	高知	長崎	沖縄	和歌山	宮崎	千葉	広島	三重	兵庫	静岡
沿岸かつお 一本釣	641	11,094	5.8	高知	三重	愛媛	和歌山	鹿児島	沖縄	宮崎	神奈川	徳島	
中・小型 まき網	11,852	414,757	2.9	島根	長崎	三重	千葉	宮崎	鹿児島	愛媛	静岡	大阪	和歌山
沿岸まぐろ はえ縄	980	8,159	12.0	宮崎	沖縄	岩手	和歌山	宮城	高知	青森	北海道	長崎	千葉

2) 魚種別漁獲量

単位：トン、%

平成21年 区分	魚種別漁獲量		全 国 シェア	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位
	和歌山県	全 国											
あじ類計	6,101	192,122	3.2	長崎	島根	鹿児島	石川	鳥取	山口	和歌山	福岡	三重	愛媛
むろあじ類	3,217	26,956	11.9	長崎	鹿児島	和歌山	三重	宮崎	兵庫	高知	静岡	山口	愛媛
海産ほ乳類	341	1,404	24.3	岩手	和歌山	石川	長崎	北海道	沖縄	宮城	富山	三重	新潟
いせえび	175	1,335	13.1	千葉	三重	和歌山	静岡	鹿児島	長崎	宮崎	徳島	高知	東京
たちうお	1,835	11,891	15.4	愛媛	大分	和歌山	広島	徳島	兵庫	長崎	熊本	山口	静岡
いさき	240	4,986	4.8	長崎	島根	三重	山口	神奈川	静岡	和歌山	大分	東京	福岡
養殖まだい	2,079	70,959	2.9	愛媛	熊本	三重	高知	長崎	和歌山	大分	香川	静岡	鹿児島
内水面 養殖あゆ	1,074	5,837	18.3	和歌山	愛知	岐阜	宮崎	徳島	滋賀	栃木	静岡	高知	熊本

注 あじ類：まあじとむろあじ類の合計

海産ほ乳類：いるか類及びくじら類（捕鯨漁業により捕獲されたものを除く）

注 養殖まだいについては、千葉、東京、石川、大阪、兵庫、島根、山口、徳島、福岡、宮崎が秘密保護のため順位に含まれていない。

注 内水面漁業養殖あゆについては、北海道、青森、岩手、宮城、福島、茨城、群馬、千葉、東京、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、兵庫、三重、京都、奈良、鳥取、香川、愛媛、福岡、長崎、大分が秘密保護のため順位に含まれていない。

（農林水産統計年報）

II 和歌山県の農林水産業の動向

1 農業部門

1) 農業指標

本県の総農家数は33,799戸、うち販売農家数23,207戸である。販売農家のうち専兼別の比率は専業41.6%、1種兼業16.6%、2種兼業41.8%で兼業農家の比率がやや高い。(2010年「世界農林業センサス」結果より) 耕地面積は35,600haであり、その利用形態は水田30.0%、樹園地62.6%、普通畑 7.1%である。農業産出額は 9,269千万円 (構成比：米8.8% 果実56.1% 野菜17.4% 花き5.8% 畜産6.2%)

	平成22年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
総農家	戸	%	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸
販売農家	23,207	(100.0)	4,444	3,872	2,700	3,921	4,450	3,300	520
専業	9,644	28.5 (41.6)	1,713	1,519	969	1,791	1,903	1,484	265
1種兼	3,854	11.4 (16.6)	567	606	435	854	802	560	30
2種兼	9,709	28.7 (41.8)	2,164	1,747	1,296	1,276	1,745	1,256	225
	平成21年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
耕地面積	ha	%	ha	ha	ha	ha	ha	ha	ha
水田	10,700	30.0	2,848	2,043	1,065	591	2,133	1,384	667
樹園地	22,300	62.6 (100.0)	3,067	3,464	3,039	5,207	3,663	3,692	155
みかん	7,970	(35.7)	1,919	873	230	3,881	372	719	6
はっさく	1,140	(5.1)	103	555	70	223	160	26	3
うめ	5,620	(25.2)	121	201	202	73	2,606	2,404	13
もも	780	(3.5)	53	578	144	4	2	0	0
かき	2,820	(12.6)	275	654	1,865	36	10	7	3
普通畑	2,530	7.1	544	208	157	246	864	318	193
	平成21年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
農業産出額	千万円	%	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円	千万円
農業産出額	9,269	100.0	1,558	1,618	1,057	1,772	2,001	1,109	154
米	818	8.8	260	158	76	39	154	97	34
果実	5,202	56.1	619	958	734	1,375	780	725	11
野菜	1,610	17.4	488	266	75	93	594	50	44
花き	538	5.8	33	83	21	59	283	42	11
畜産	579	6.2	104	χ	χ	83	χ	χ	χ

※ ラウンドしているため、各数値の積上げが、合計と一致しない場合があります。

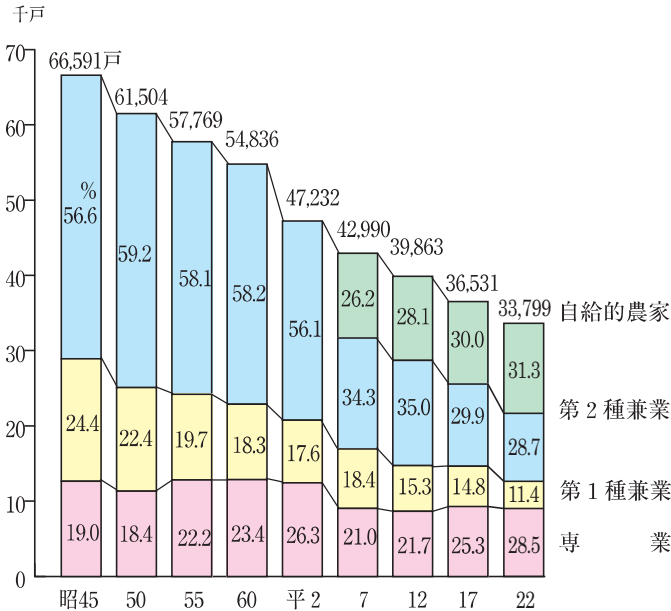
※ 「χ」は、統計法に基づく秘密保護のため、公表されていないものです。

(2010年世界農林業センサス・農林水産統計年報・市町村別統計検討協議会調べ)

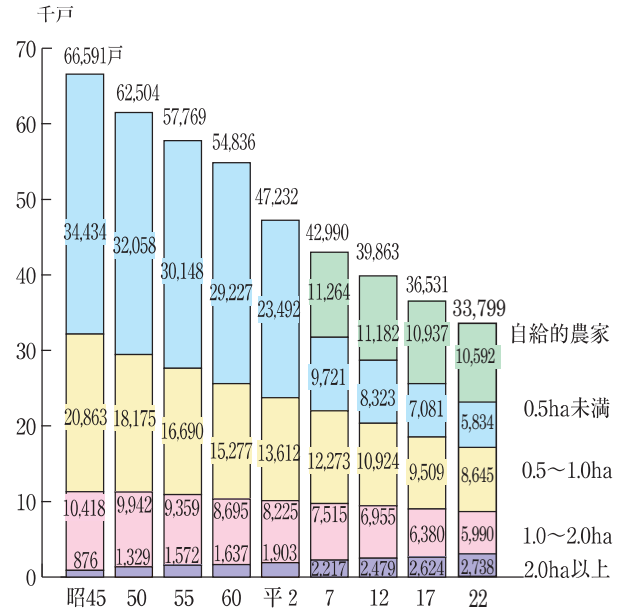
2) 農業を担う人々

平成22年の農家戸数は33,799戸で減少傾向が続いている。経営規模が1ha未満の農家が74.2%を占める。年齢別の基幹的農業従事者では60歳以上の占める割合が68.5%と増加している。平成7年以降、新規就農者数は増加傾向にある。

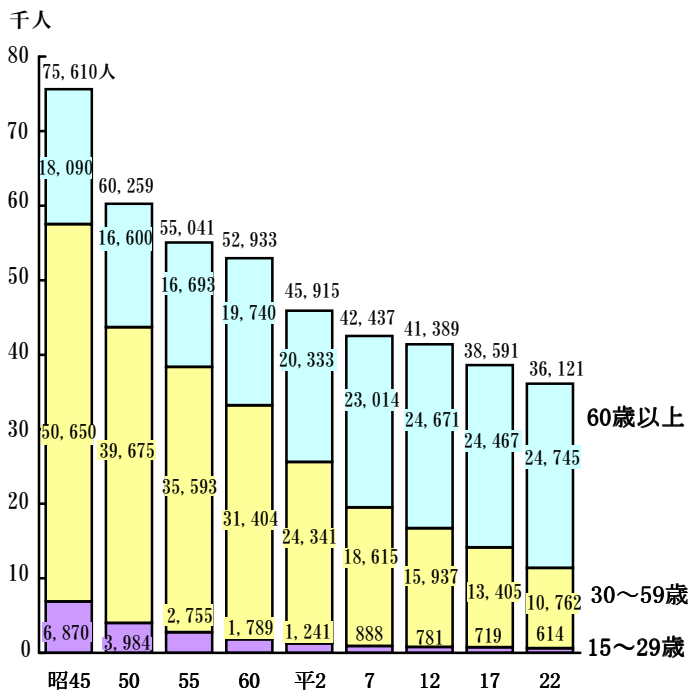
専兼業別農家数の推移



経営規模別農家数の推移



基幹的農業従事者数（年齢別）の推移

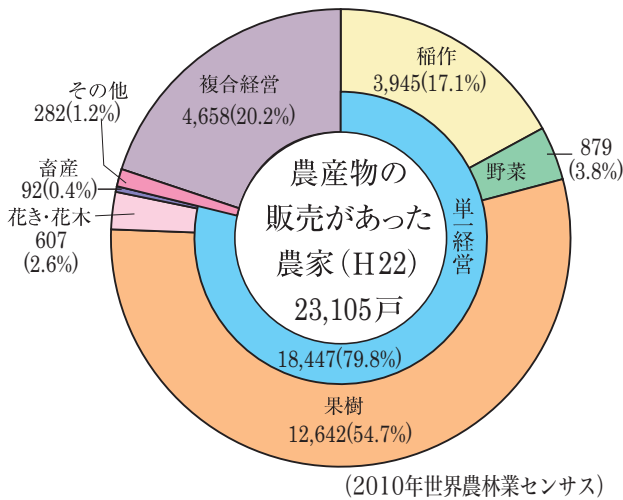


農家数	〔平22〕						
	全国	和歌山県		1位	2位	3位	
	実数	実数	順位	シェア (%)	県名	県名	県名
総農家数	2,527,948	33,799	36	1.3	長野	茨城	福島
販売農家数	1,631,206	23,207	33	1.4	茨城	福島	新潟

(2010年世界農林業センサス)

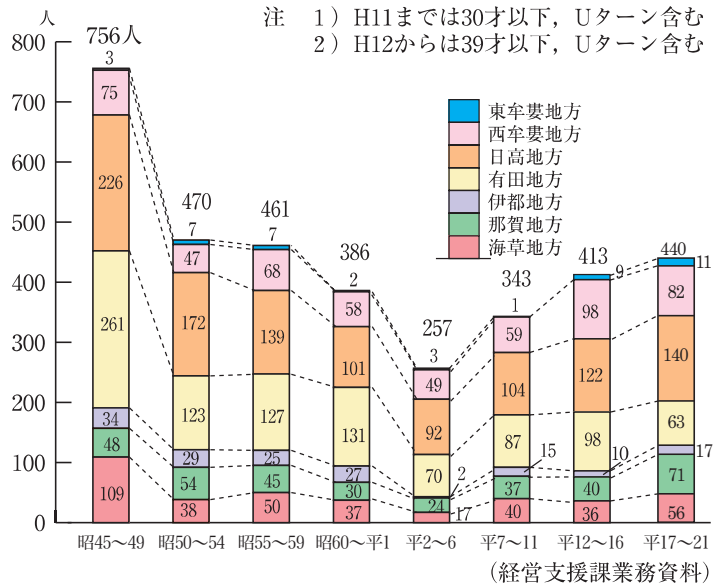
※本調査は、平成8年より調査対象が変更(総農家→販売農家)されていますので、ご利用の際は、ご注意ください。

農業経営組織別農家数（平成22年）



(2010年世界農林業センサス)

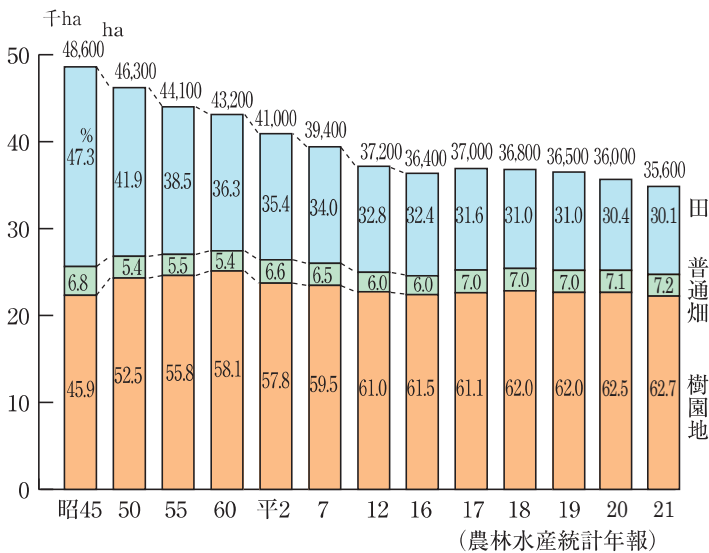
新規就農者数の推移



3) 耕地面積

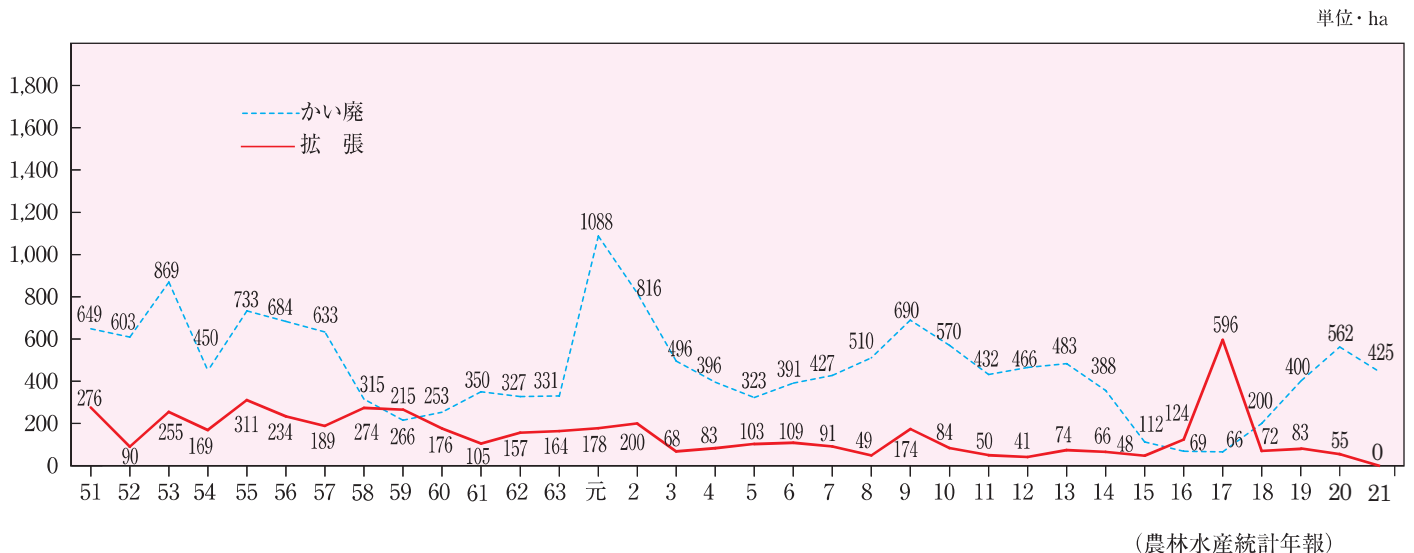
耕地面積は減少傾向にあるなかで樹園地の比率が高まっている。
施設面積は平成9年の909ha(耕地面積の2.3%)をピークに減少している。

田畑別耕地面積の推移

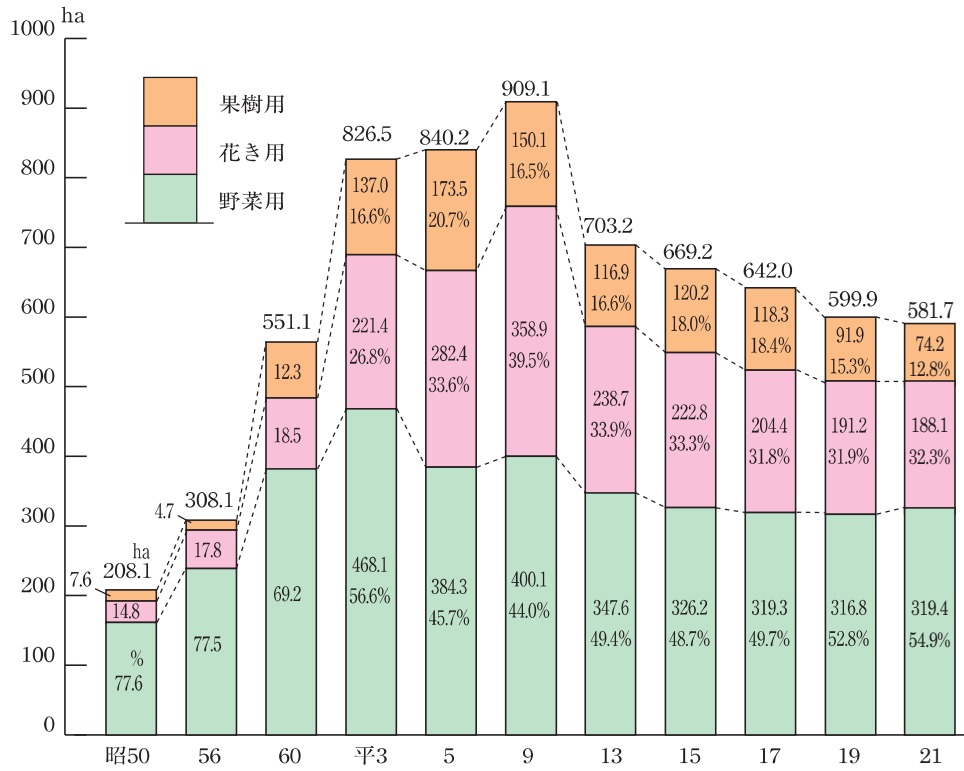


耕地面積		和歌山県		1位 2位 3位			
〔平21〕	全国	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
	耕地面積合計(ha)	4,609,000	35,600	37	0.8	北海道	茨城
田	2,506,000	10,700	42	0.4	北海道	新潟	秋田
畑	2,103,000	24,800	21	1.2	北海道	鹿児島	茨城

耕地の拡張・かい廃の推移

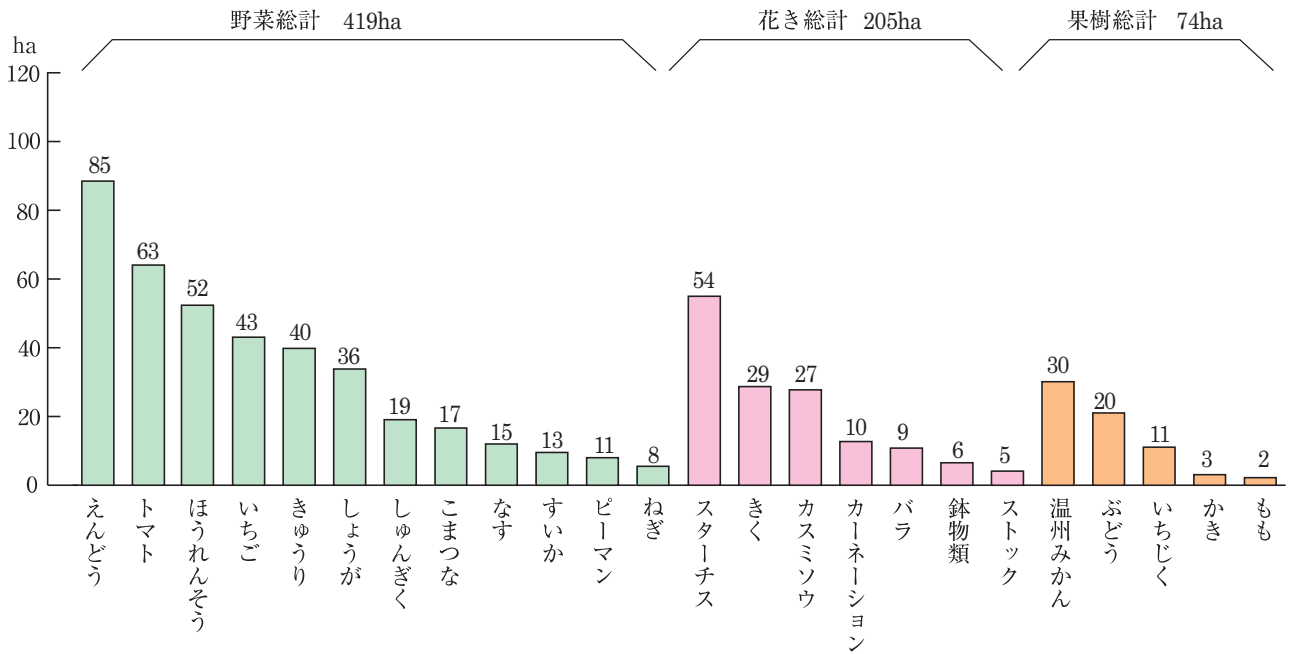


施設設置面積の推移



(園芸用ガラス室、ハウス等の設置状況調査)

主要品目別施設栽培延面積 (平21)



施設園芸作付延面積の推移

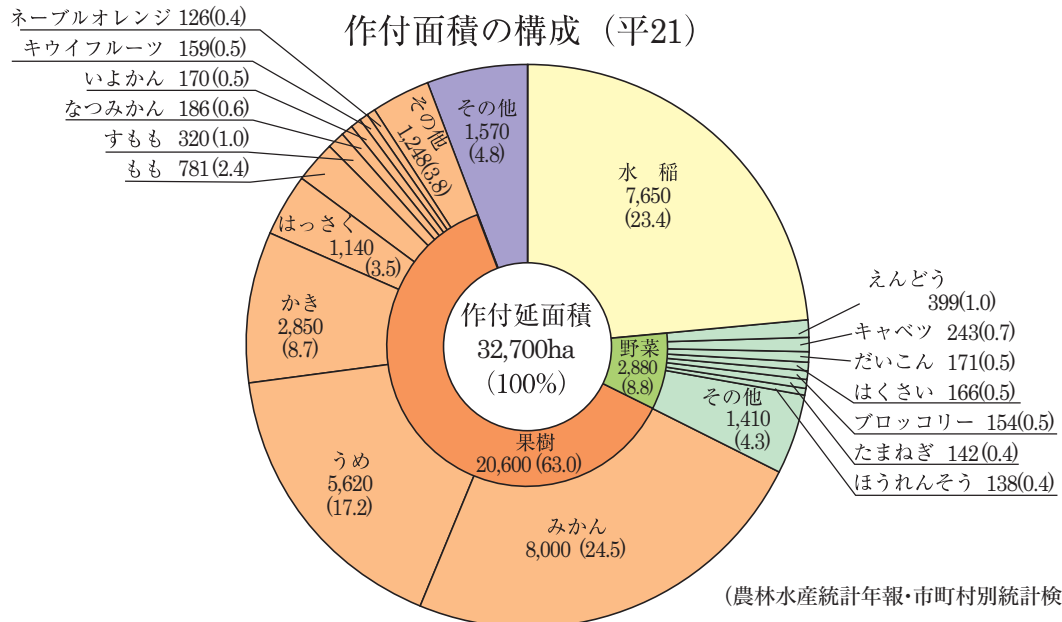
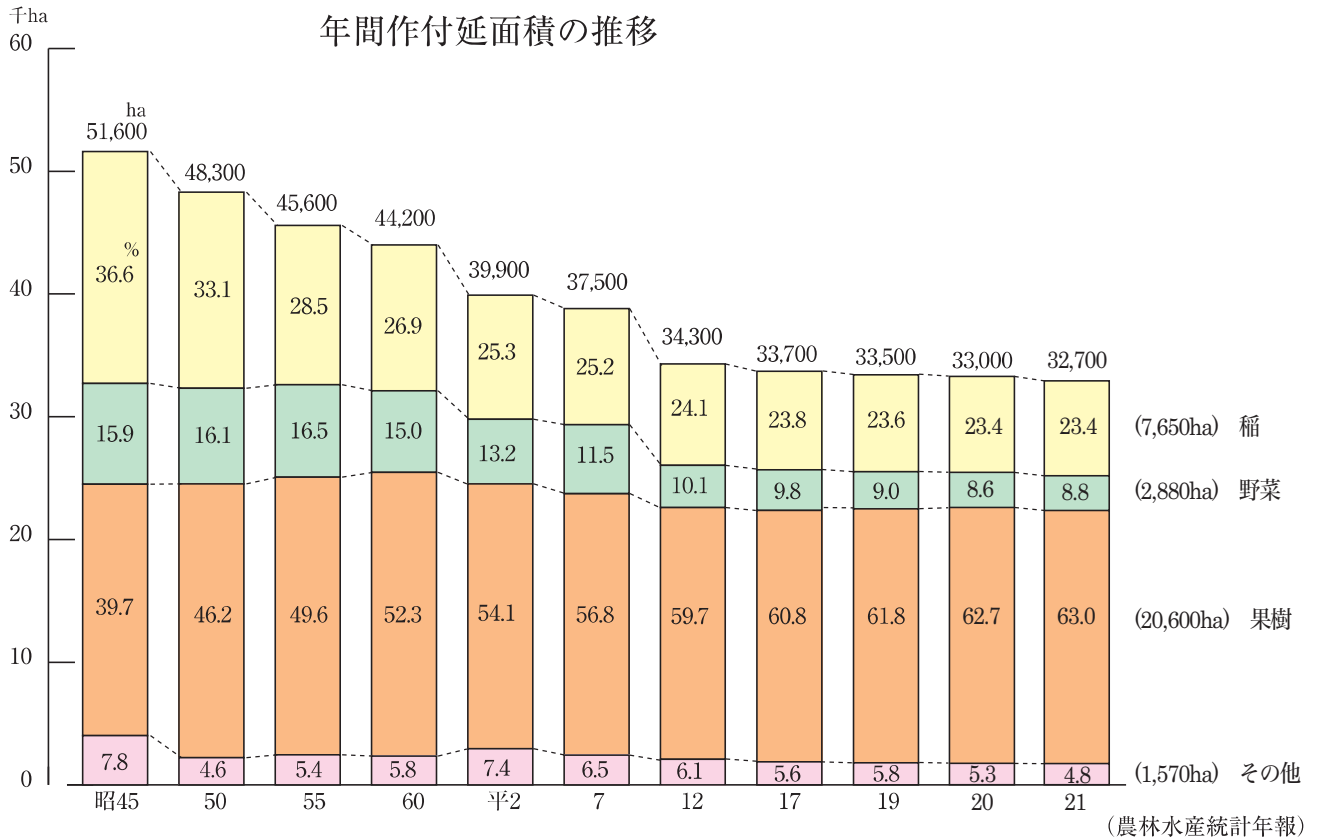
	昭50	55	60	平2	5	9	13	15	17	19	21
野菜	197	358	663	580	459	474	432	380	382	377	419
花き	35	79	180	276	353	413	266	210	220	211	205
果樹	16	15	80	137	174	150	117	120	118	92	74
合計	248	452	923	993	986	1,037	815	710	720	680	698

(園芸用ガラス室、ハウス等の設置状況調査)

4) 農業生産

年間作付け面積の構成 —— 果樹 (63.0%) ・ 水稲 (23.4%) ・ 野菜 (8.8%)

水稲、野菜の作付け面積の減少に比べ果樹の作付け面積の減少率は低く、年々果樹のウエイトが高くなっている。



作付延面積

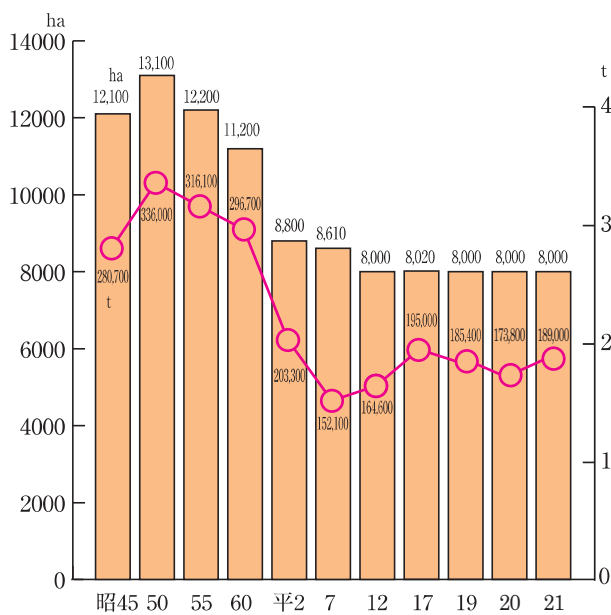
〔平21〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位	
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
作付延面積 (ha)	4,244,000	32,700	36	0.8	北海道	茨城	新潟
稲	1,624,000	7,650	42	0.5	新潟	北海道	秋田
野菜	592,300	2,880	45	0.5	北海道	千葉	茨城
果樹	250,700	20,600	3	8.2	青森	愛媛	和歌山

かんきつ類の栽培面積及び収穫量の推移

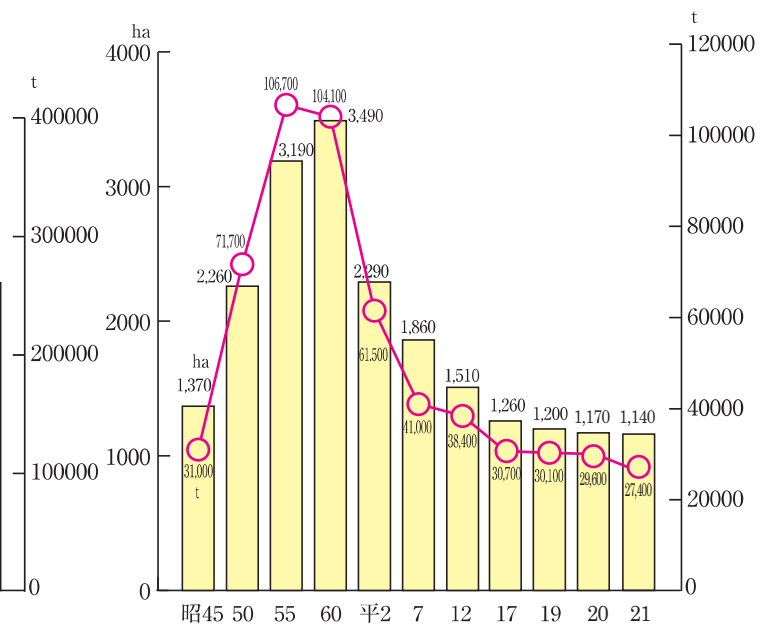
- みかん：みかんの生産過剰とオレンジ輸入自由化により、昭和50年から平成2年にかけて栽培面積は急激に減少するが、平成2年から緩やかな減少傾向となる。
- はっさく・ネーブルオレンジ：みかんの転換作物として昭和60年まで栽培面積は増加するが、収益性の低下により減少する。近年減少傾向がやや鈍化している。

平成21年の全国順位とシェア（栽培面積）—— みかん1位（16.0%）

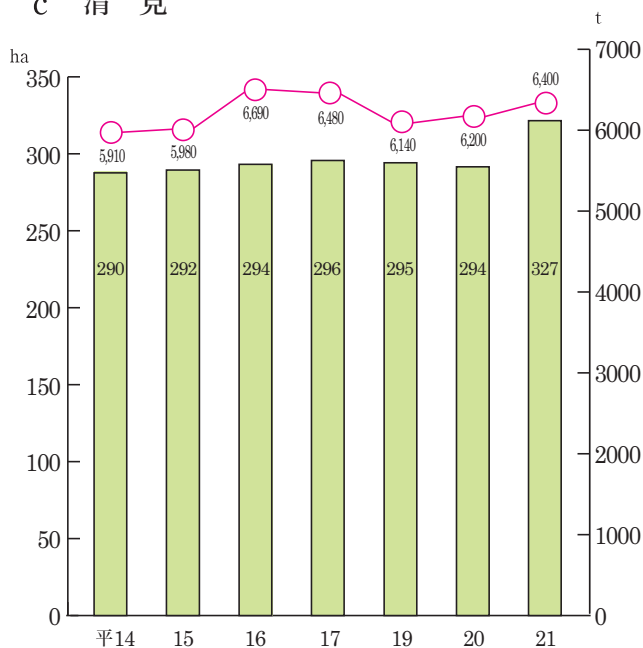
a みかん



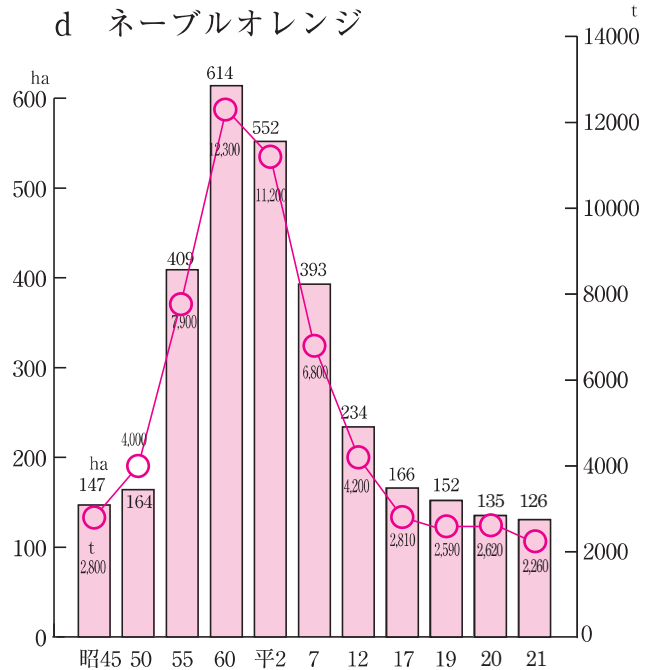
b はっさく



c 清見



d ネーブルオレンジ

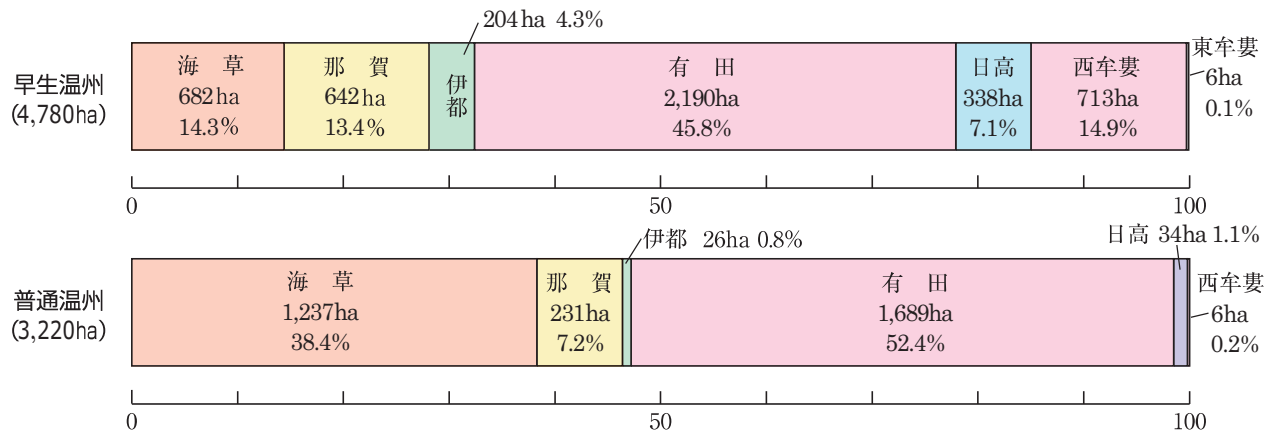


□ 栽培面積 (ha)

○ 収穫量 (t)

(農林水産統計年報・市町村別統計検討協議会調べ)

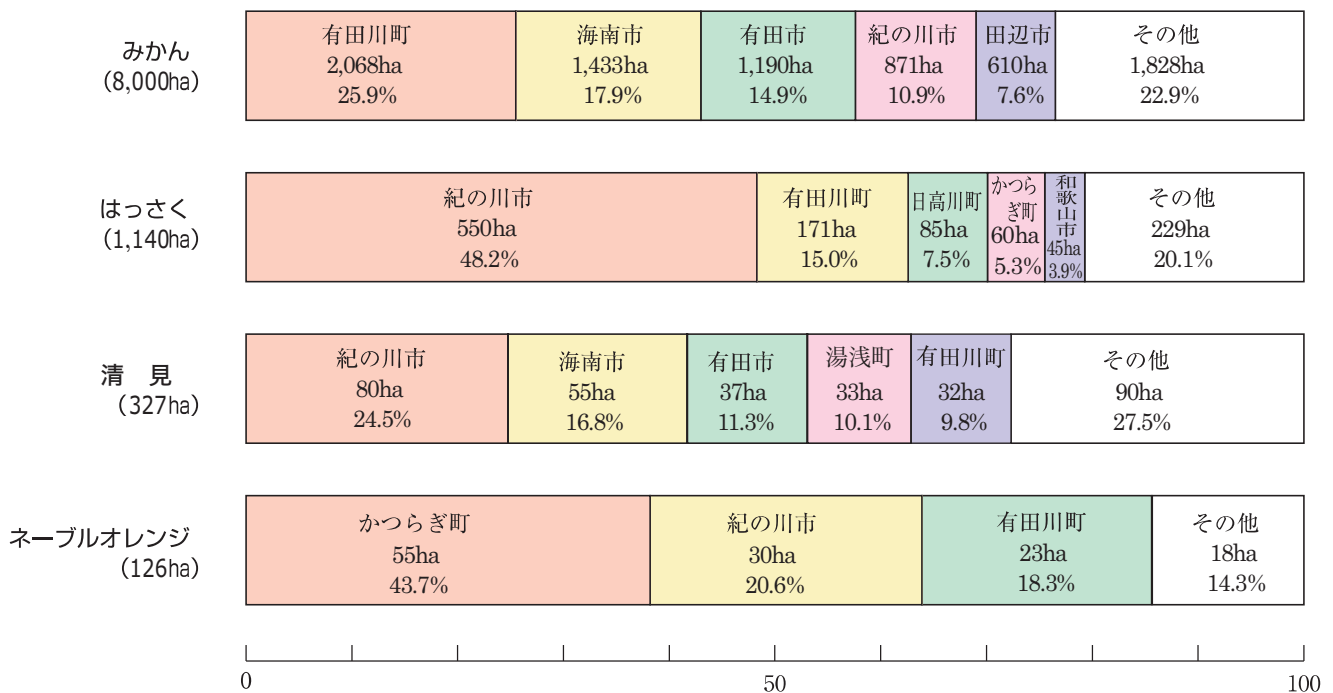
郡別・みかんの栽培面積（平21）



（市町村別統計検討協議会調べ）

市町村別・かんきつ類の栽培面積

〔上位5市町村〕（平21）



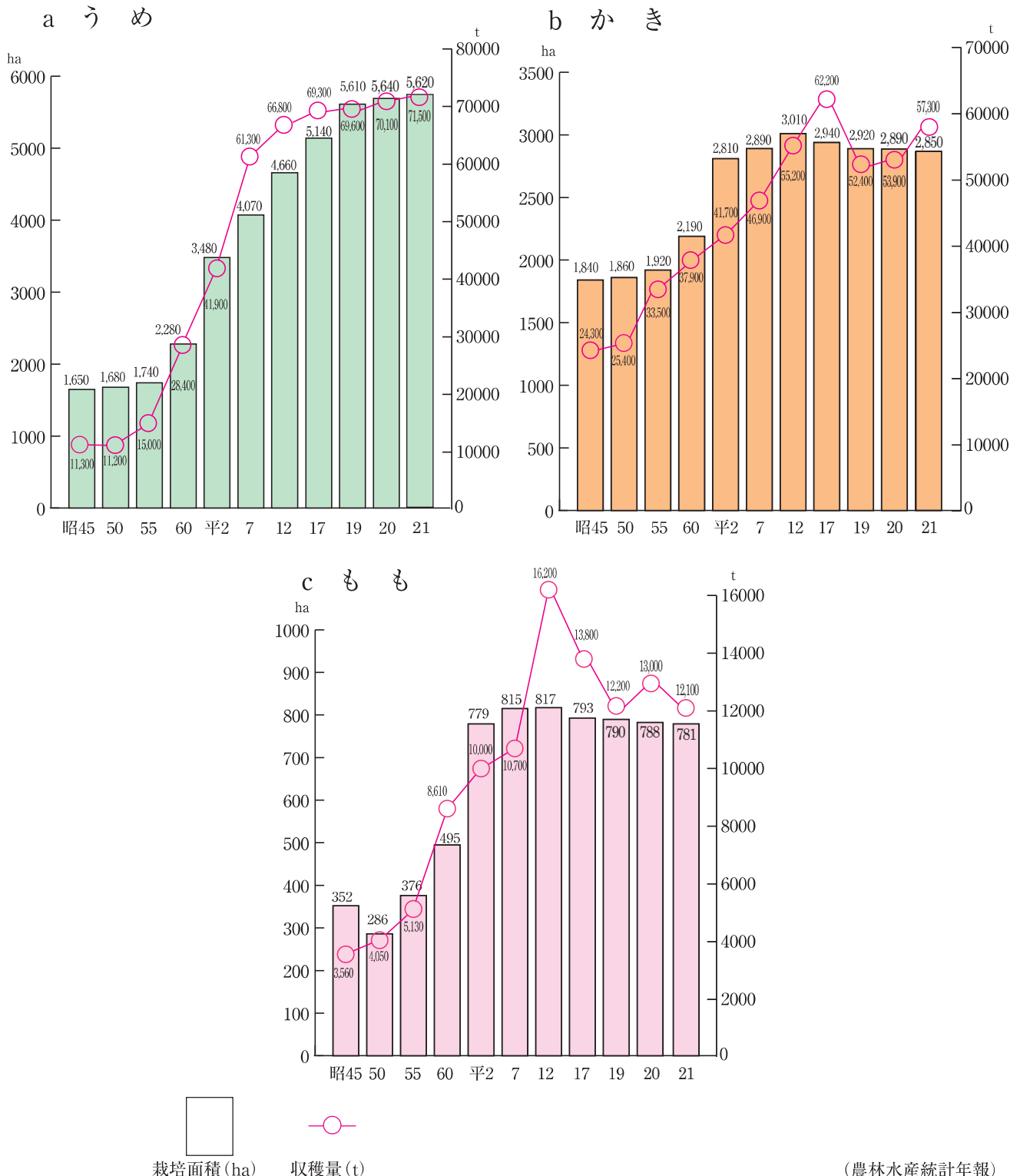
（市町村別統計検討協議会調べ）

みかんの栽培面積						
〔平21〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名
みかん	49,900	8,000	1	16.0	和歌山	愛媛 静岡

落葉果樹の栽培面積及び収穫量の推移

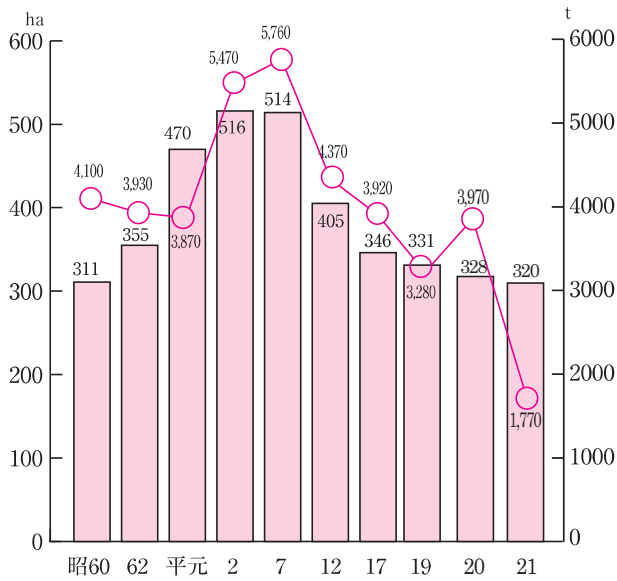
落葉果樹全体では、昭和55年以降みかんからの転作により栽培面積は増加傾向であったが、現在は横ばいである。

- かき・もも 昭和55年から平成2年にかけて栽培面積が急増し、それ以降は横ばいとなっている。
 - うめ 昭和55年から平成7年にかけて健康食ブームと相まって栽培面積が急増したが、近年は横ばいとなっている。
 - すもも・キウイフルーツ 平成2年をピークに栽培面積は減少傾向、キウイは減少が著しい。
- 平成21年の全国順位とシェア（栽培面積）—— うめ1位（30.9%）・かき1位（12.1%）
もも4位（7.1%）・すもも3位（10.0%）
キウイフルーツ3位（6.5%）

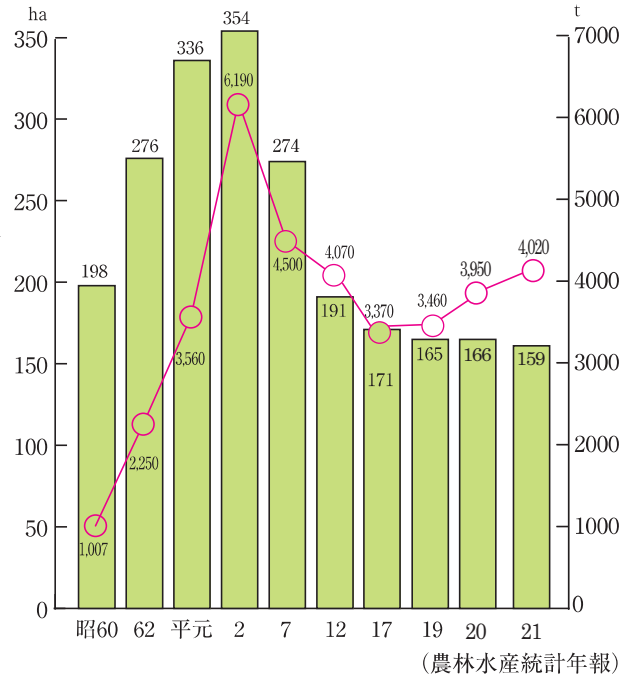


(農林水産統計年報)

d すもも



e キウイフルーツ



市町村別・落葉果樹の栽培面積（平21）

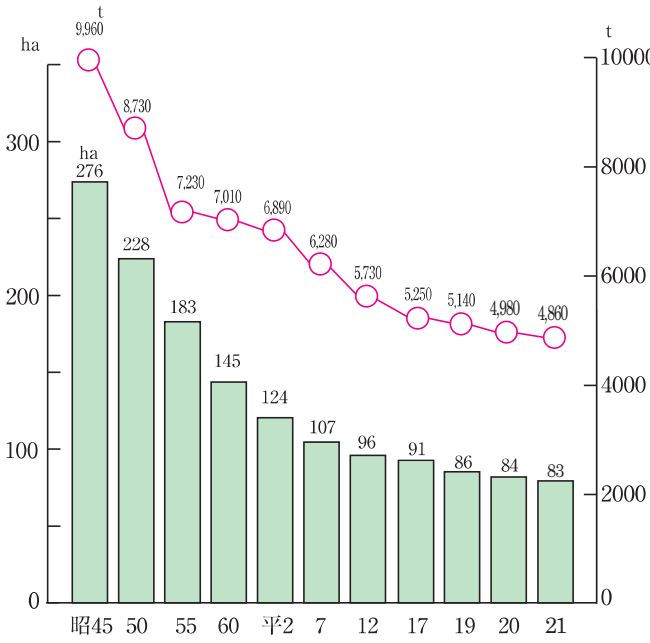
うめ (5,620ha)	みなべ町	田辺市	上富田町	印南町	紀の川市	その他
	2,140ha 38.1%	1,890ha 33.6%	320ha 5.7%	300ha 5.3%	198ha 3.5%	772ha 13.7%
かき (2,850ha)	かつらぎ町	橋本市	紀の川市	九度山町	紀美野町	その他
	860ha 30%	671ha 23.5%	652ha 22.9%	333ha 11.7%	208ha 7.3%	126ha 4.4%
もも (781ha)	紀の川市	かつらぎ町	海南市	和歌山市	九度山町	その他
	575ha 73.6%	137ha 17.6%	37ha 4.7%	15ha 1.9%	5ha 0.6%	12ha 1.5%
すもも (320ha)	かつらぎ町	紀の川市	田辺市	橋本市	有田川町	その他
	140ha 43.8%	46ha 14.4%	43ha 13.4%	33ha 10.3%	22ha 6.9%	36ha 11.3%
キウイフルーツ (159ha)	紀の川市	有田川町	海南市	かつらぎ町	その他	
	88ha 55.3%	21ha 13.2%	27ha 17.0%	14ha 8.8%	9ha 5.7%	

栽培面積（落葉果樹）		(ha)					
〔平21〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位	
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
うめ	18,200	5,620	1	30.9	和歌山	群馬	長野
かき	23,600	2,850	1	12.1	和歌山	福岡	奈良
もも	11,000	781	4	7.1	山梨	福島	長野
すもも	3,200	320	3	10.0	山梨	長野	和歌山
キウイフルーツ	2,460	159	3	6.5	愛媛	福岡	和歌山

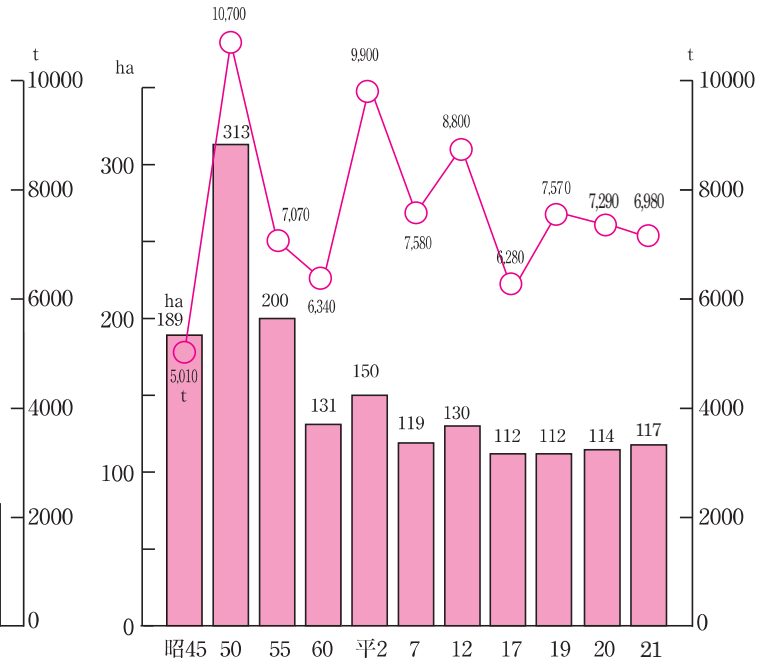
果菜類の作付面積及び収穫量の推移

栽培面積は減少傾向であるが、近年は横ばいで推移している。

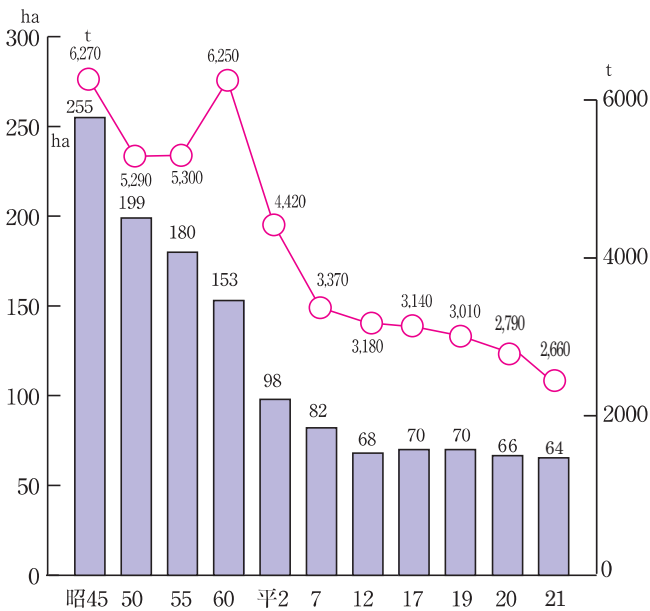
a きゅうり



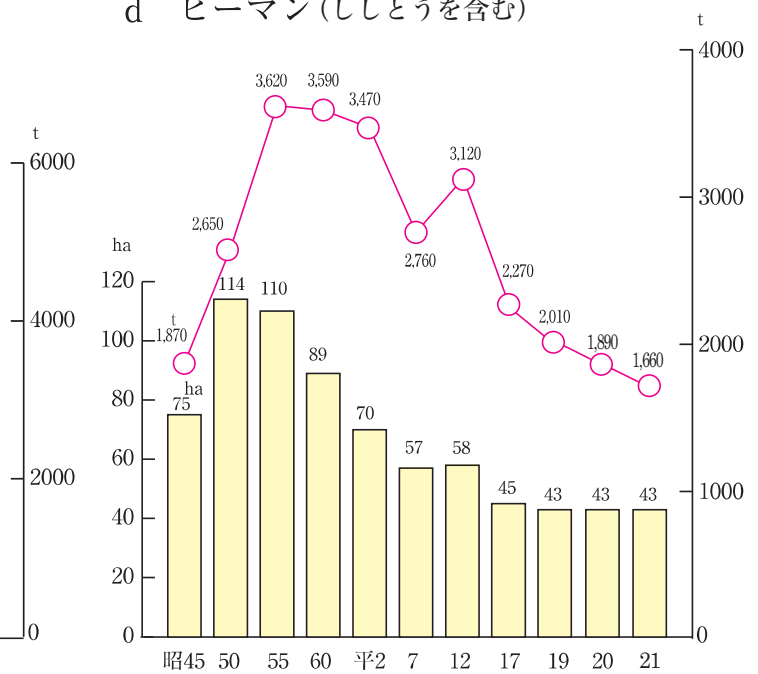
b トマト (ミニトマトを含む)



c なす



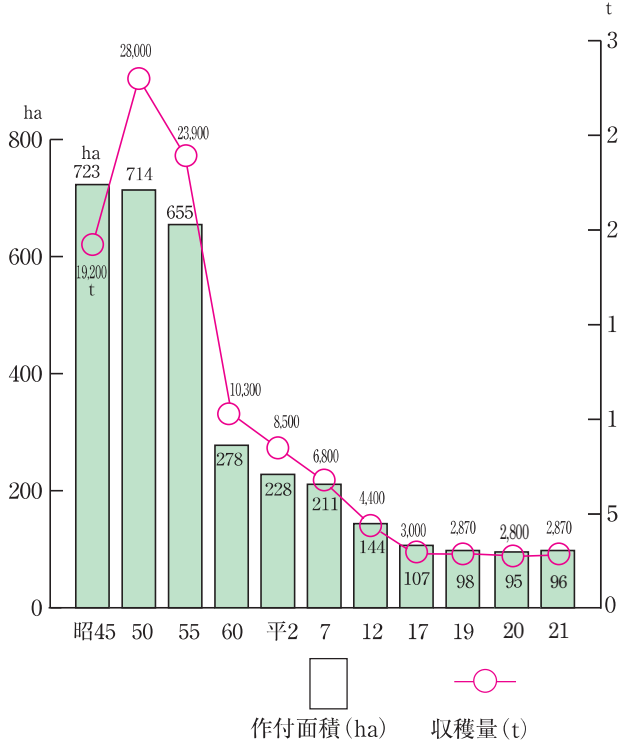
d ピーマン (ししとうを含む)



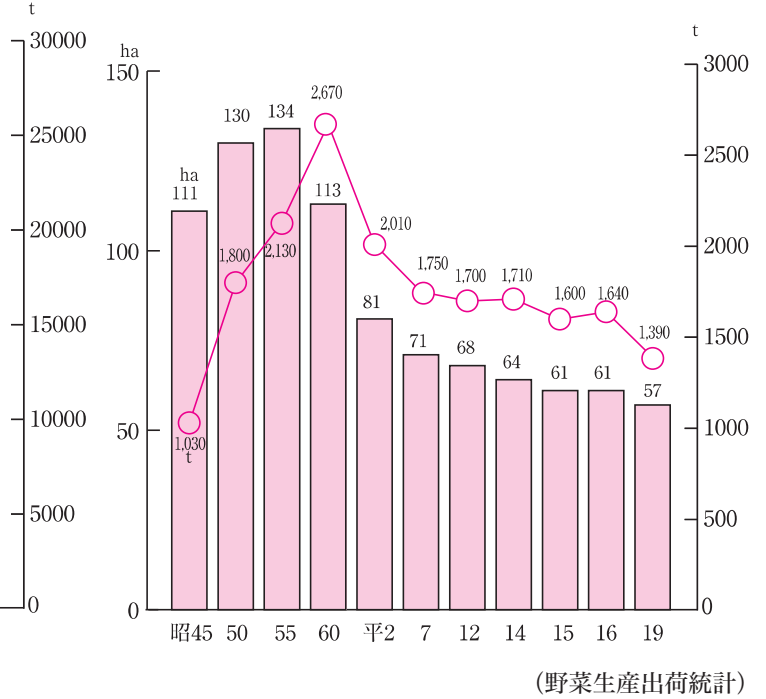
□ 作付面積 (ha) ○ 収穫量 (t)

(野菜生産出荷統計)

e すいか



f いちご



(野菜生産出荷統計)

市町村別・果菜類の作付面積 (平21)

きゅうり (83 ha)	紀の川市 25ha 30.1%	美浜町 11ha 13.3%	かつらぎ町 7ha 8.4%	印南町 6ha 7.2%	日高町 5ha 6.0%	その他 29ha 34.9%		
トマト (117 ha)	印南町 22ha 18.8%	紀の川市 15ha 12.8%	有田川町 14ha 12.0%	日高町 13ha 11.1%	和歌山市 10ha 8.5%	御坊市 6ha 5.1%	その他 37ha 31.6%	
なす (64 ha)	紀の川市 12ha 18.8%	和歌山市 8ha 12.5%	御坊市 5ha 7.8%	日高川町 5ha 7.8%	岩出市 4ha 6.3%	橋本市 4ha 6.3%	かつらぎ町 4ha 6.3%	その他 22ha 34.4%
ピーマン (43 ha)	有田川町 8ha 18.6%	御坊市 7ha 16.3%	和歌山市 5ha 11.6%	紀の川市 3ha 7.0%	日高川町 3ha 7.0%	その他 17ha 39.5%		
すいか (96 ha)	印南町 40ha 41.7%	御坊市 16ha 16.7%	紀の川市 11ha 11.5%	和歌山市 6ha 6.3%	その他 23ha 24.0%			
いちご (61 ha)	打田町 16ha 26.2%	貴志川町 7ha 11.5%	粉河町 4ha 6.6%	御坊市 3ha 4.9%	湯浅町 3ha 4.9%	みなべ町 3ha 4.9%	その他 25ha 41.0%	

※いちごの数値は平成16年 (農林水産統計年報)

(市町村別統計検討協議会調べ)

作付面積 (果菜類) (ha)							
[平21]	全国	和歌山県			1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
きゅうり	12,400	83	38	0.7	群馬	福島	宮崎
トマト	12,400	117	34	0.9	熊本	茨城	千葉
なす	10,400	64	44	0.6	新潟	群馬	山形
ピーマン	3,400	43	26	1.3	茨城	宮崎	岩手
すいか	12,100	96	22	0.8	熊本	千葉	山形
いちご	6,580	57	33	0.9	栃木	福岡	熊本

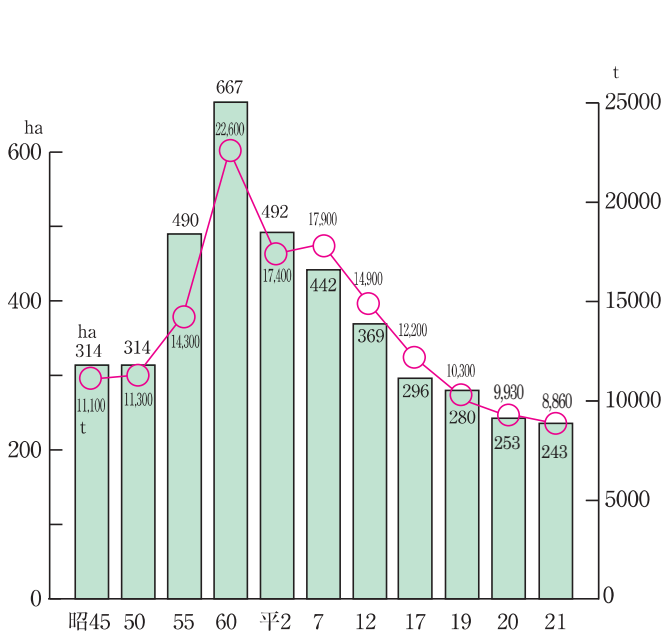
※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

※いちごの数値は平成19年

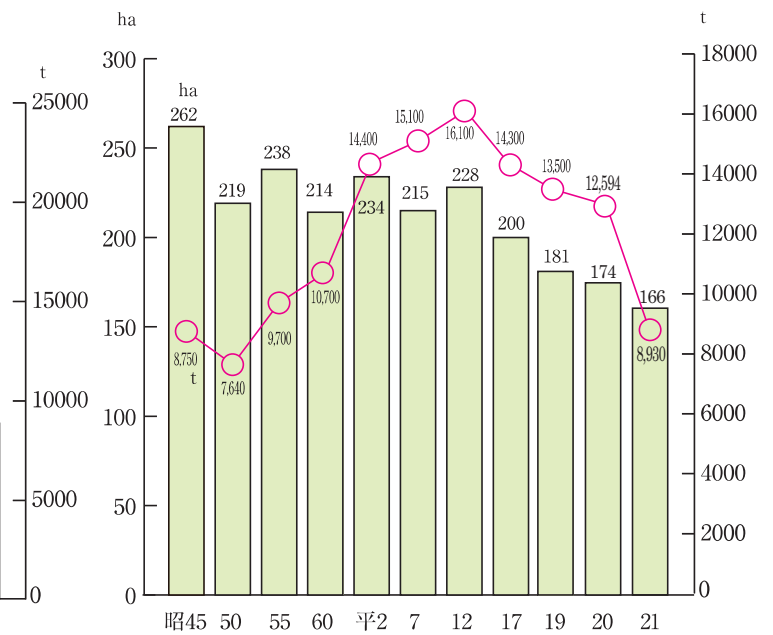
葉茎菜類の作付面積及び収穫量の推移

- 近年、栽培面積、収穫量ともに減少傾向である。
- 21年産は集中豪雨の影響により11月～12月出荷の品目で収穫量が大幅に減少した。

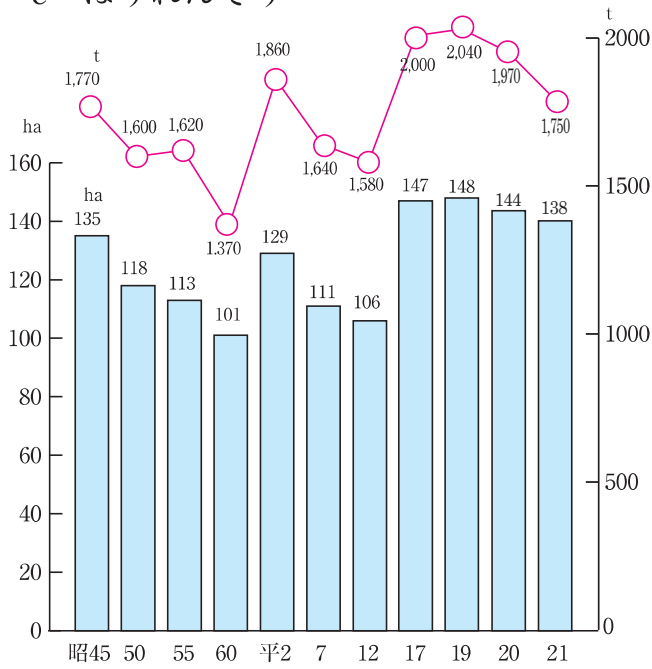
a キャベツ



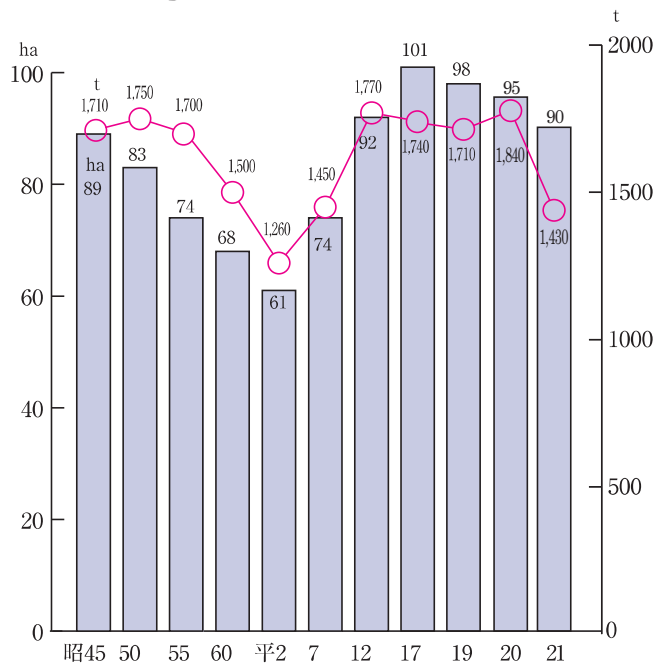
b はくさい



c ほうれんそう



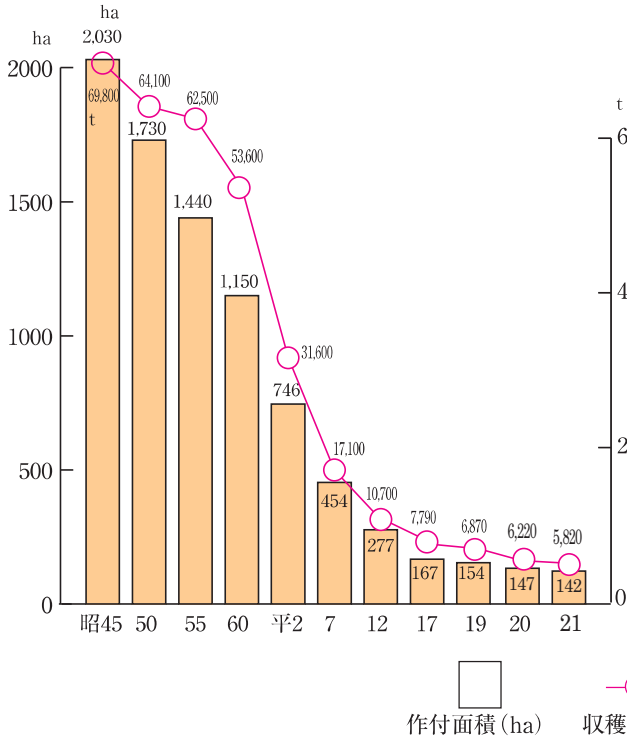
d ねぎ



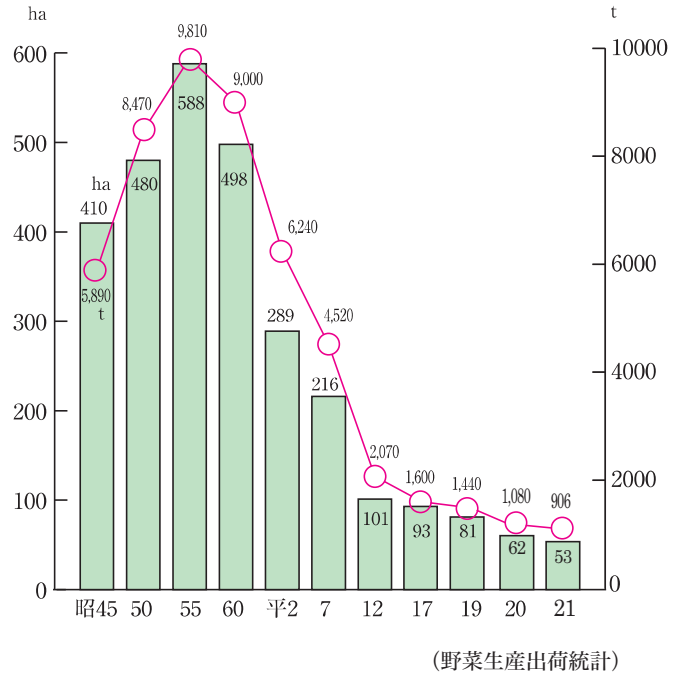
□ 作付面積 (ha) ○— 収穫量 (t)

(野菜生産出荷統計)

e たまねぎ



f レタス



(野菜生産出荷統計)

市町村別・葉茎菜類の作付面積 (平21)

キャベツ (243ha)	和歌山市 164ha 67.5%	岩出市 17ha 7.0%	紀の川市 14ha 5.8%	御坊市 13ha 5.3%	その他 35ha 14.4%
はくさい (166ha)	和歌山市 81ha 48.8%	岩出市 18ha 10.8%	御坊市 15ha 9.0%	紀の川市 14ha 8.4%	その他 38ha 22.9%
たまねぎ (142ha)	紀の川市 89ha 62.7%	和歌山市 7ha 4.9%	岩出市 7ha 4.9%	かつらぎ町 5ha 4.2%	その他 33ha 23.2%
冬レタス (53ha)	御坊市 16ha 30.2%	白浜町 10ha 18.9%	和歌山市 9ha 17.0%	日高川町 5ha 9.4%	その他 13ha 24.5%

0 50 100

(市町村別統計検討協議会調べ)

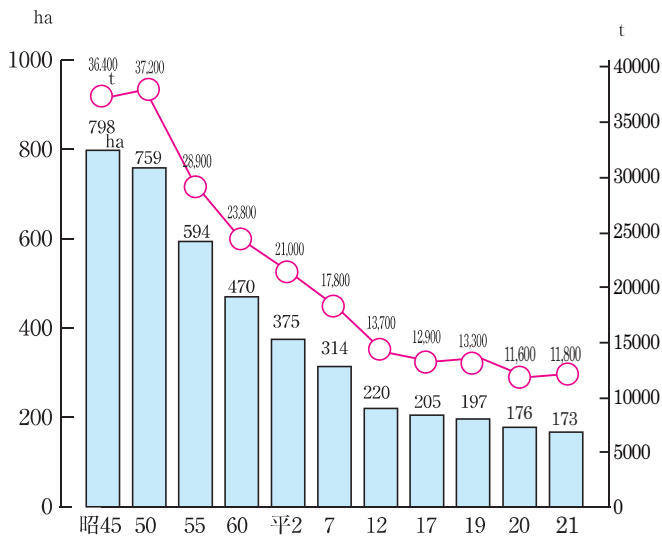
作付面積 (葉茎菜類)		(ha)					
[平21]	全国	和歌山県			1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
キャベツ	33,280	243	33	0.7	愛知県	群馬県	千葉県
はくさい	18,580	166	30	0.9	茨城県	長野県	北海道
ほうれんそう	22,400	138	38	0.6	千葉県	埼玉県	群馬県
ねぎ	23,190	90	44	0.4	千葉県	埼玉県	茨城県
たまねぎ	24,000	142	24	0.6	北海道	佐賀県	兵庫県
レタス	20,830	53	31	0.3	長野県	茨城県	兵庫県

※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

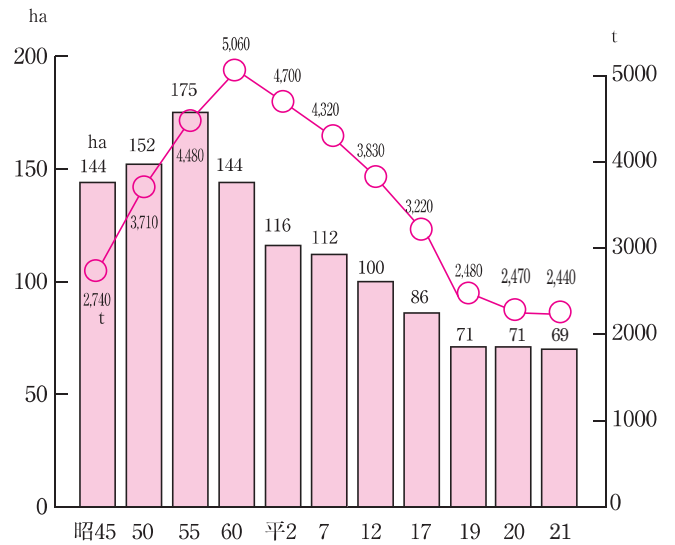
根菜類及び豆類の作付面積と収穫量の推移

●だいこん・にんじん・さといも・えんどう：栽培面積の減少が続いていたが、その傾向は近年やや鈍化している。

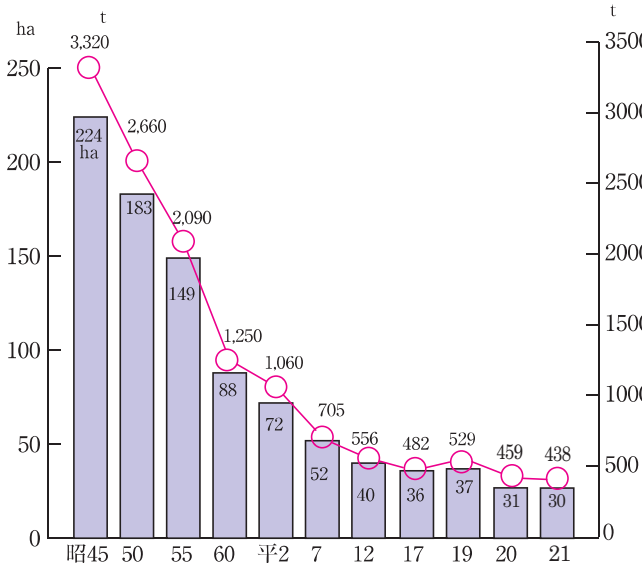
a だいこん



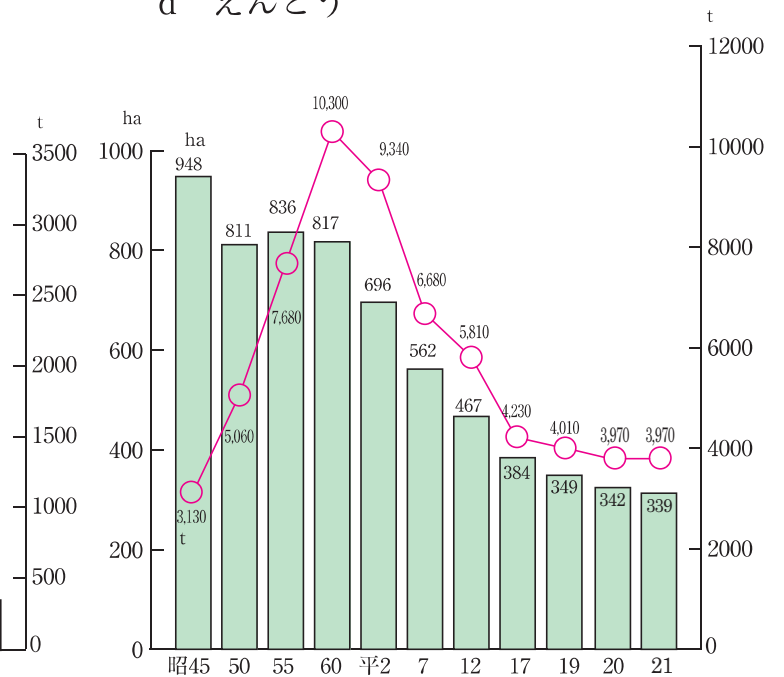
b にんじん



c さといも



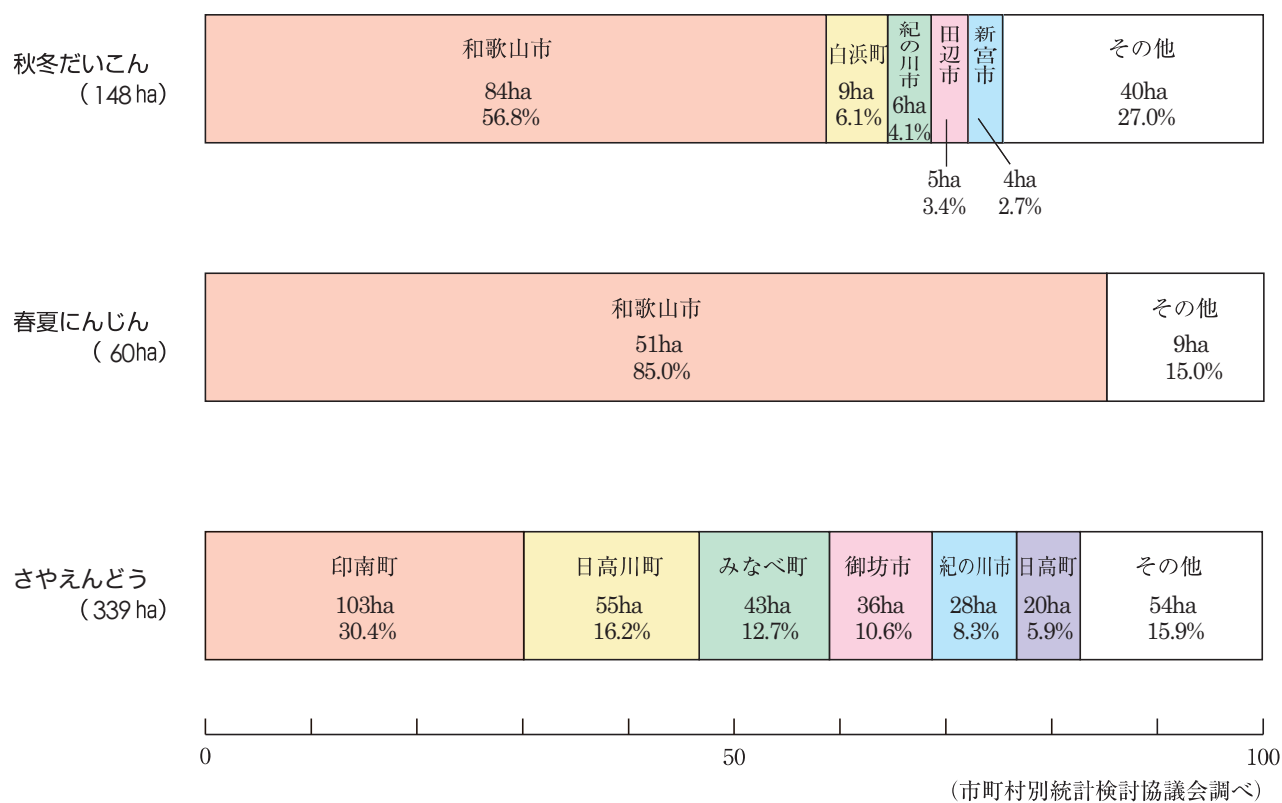
d えんどう



□ 作付面積 (ha) ○ 収穫量 (t)

(野菜生産出荷統計)

市町村別・根菜類及び豆類の作付面積（平21）



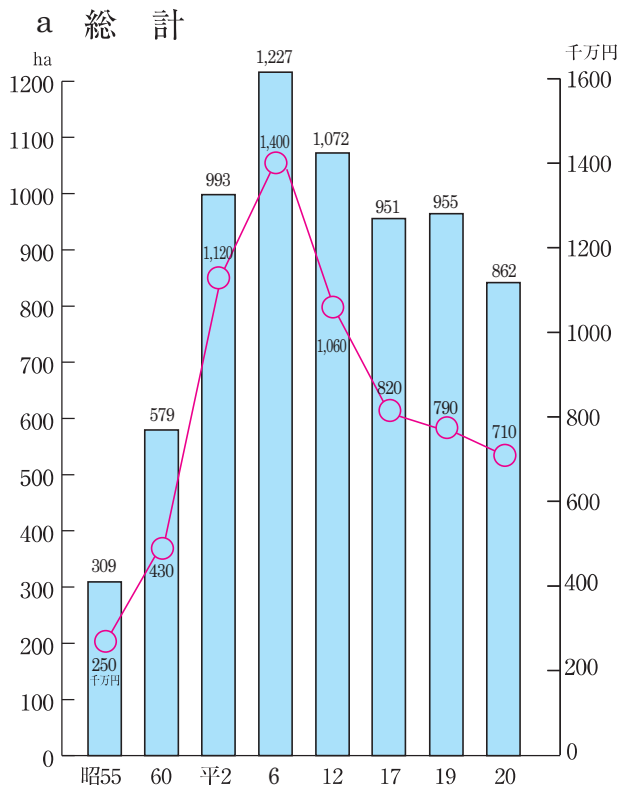
作付面積（根菜類・豆類）							
[平21]	和歌山県				1位	2位	3位
	全国 実数	和歌山 実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
だいこん	36,380	171	42	0.5	北海道	青森	千葉
にんじん	19,040	60	33	0.3	北海道	千葉	青森
さといも	14,000	30	44	0.2	千葉	宮崎	鹿児島
えんどう	4,230	339	3	8.0	鹿児島	福島	和歌山

※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

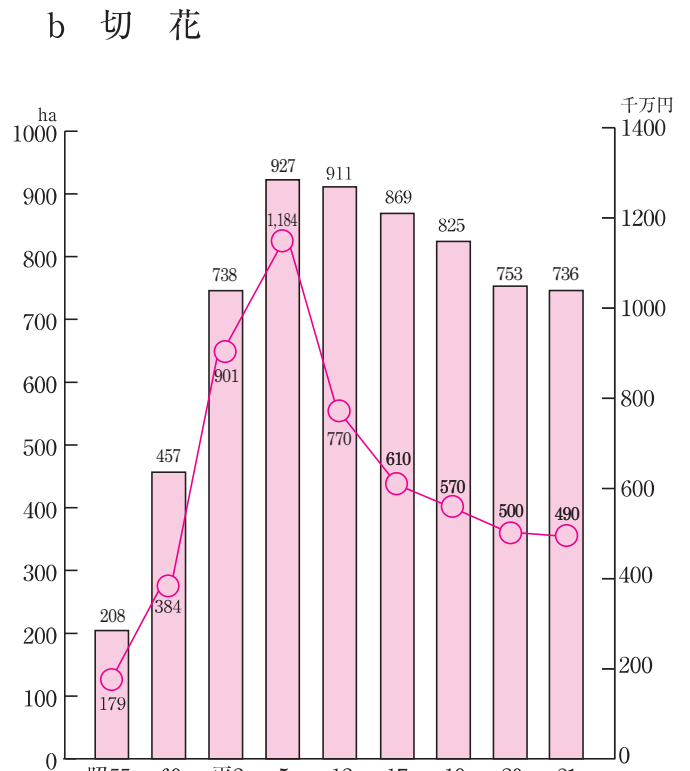
(野菜生産出荷統計)

花き生産の推移

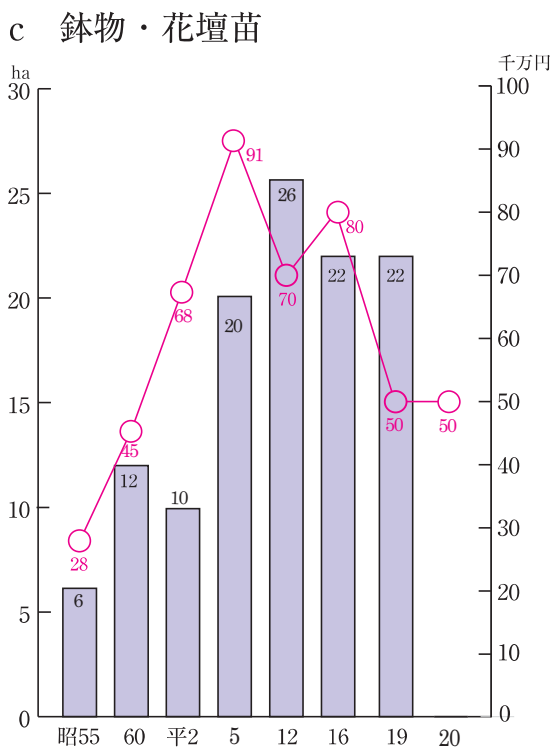
花き全体の栽培面積は昭和60年から平成2年にかけて需要の増加や野菜からの転換により急激に増加している。その後の推移は平成6年をピークに微減となっている。



(花き生産出荷統計、花木等生産状況調査、生産農業所得統計)

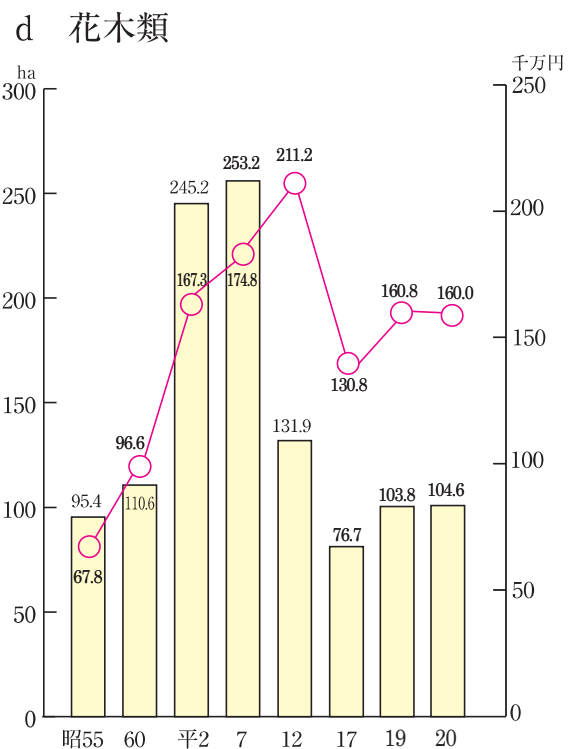


(花き生産出荷統計、生産農業所得統計)



※平20の作付面積の数値はない。

(花き生産出荷統計、生産農業所得統計)

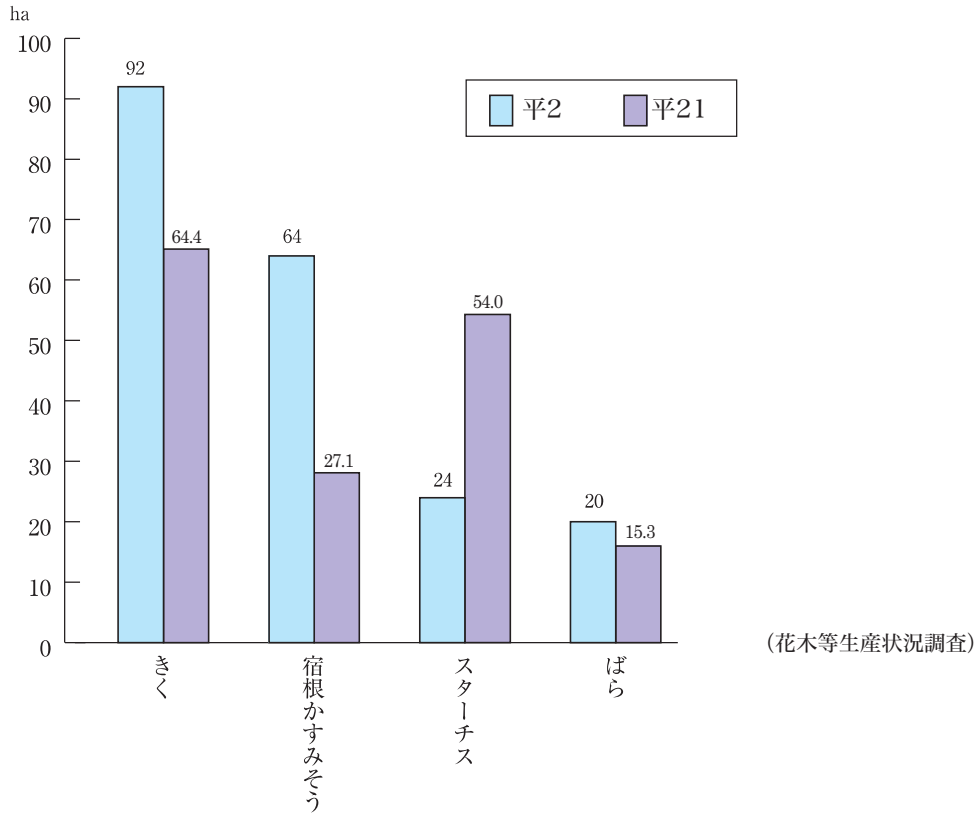


(花木等生産状況調査)

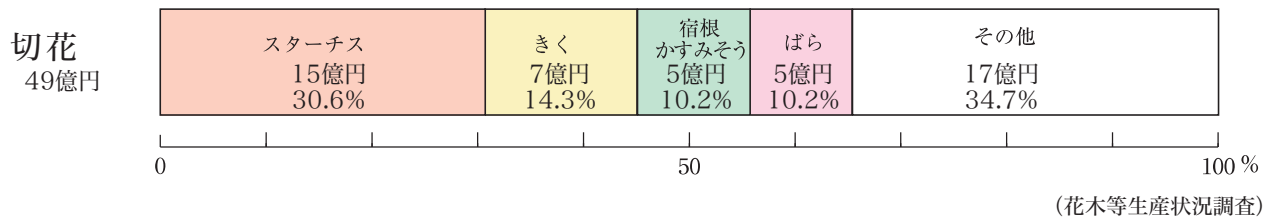
□ 作付面積 (ha) ○— 生産額 (千万円)

※ただし、a総計の一部(花木類、地被植物類)及びd花木類については生産額
 生産額：市場で取引された農作物の金額
 生産額：生産された農作物の金額(生産額及び未出荷額を含む)

主要切花の作付面積



切花生産額の品目別割合 (平21)



産出額 (花き) (億円)						
[平21]	全国	和歌山県		1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名
スターチス	45	15	2	33.3	北海道	和歌山
宿根かすみそう	33	5	3	15.2	熊本	福島

(花木等生産状況調査)

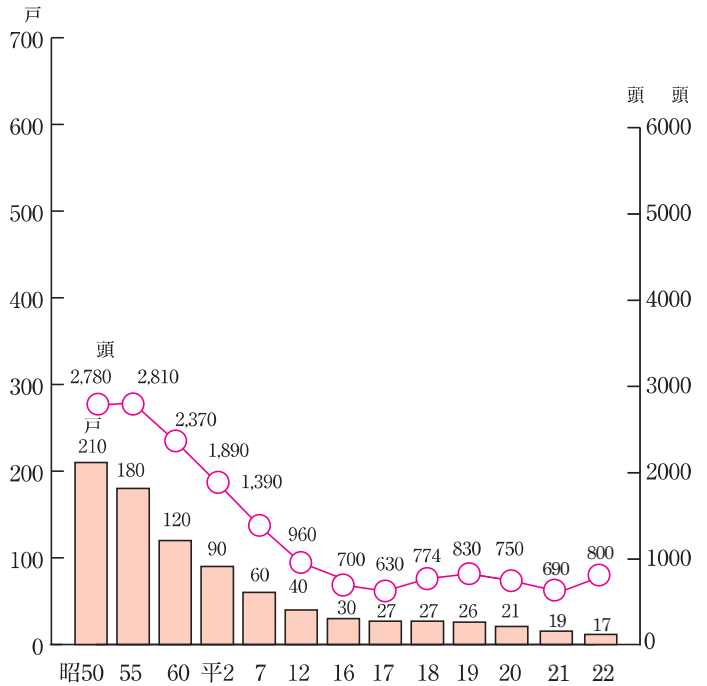
家畜の飼養戸数及び飼養頭羽数の推移

畜産農家数はすべての部門で前年に比べ減少している。

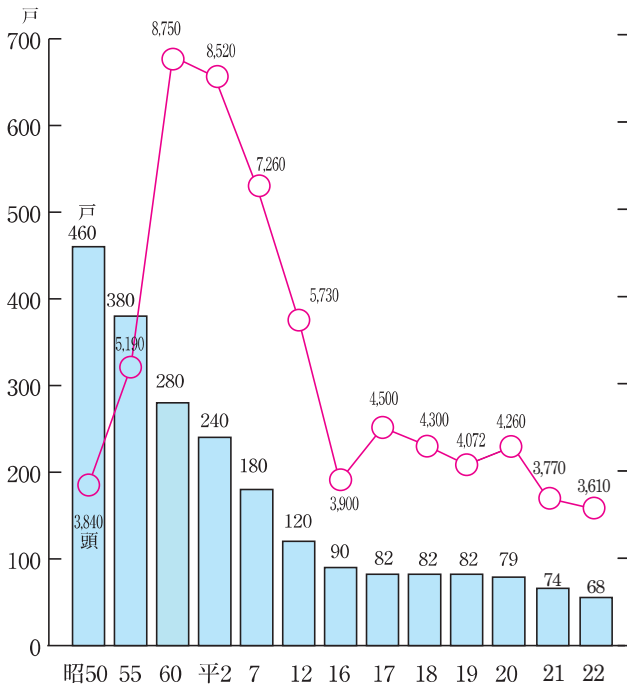
飼養頭羽数はすべての部門で年々減少傾向にあるが、昭和50年代と比べ1戸当たりの飼養頭羽数は大幅に増加しており、すべての部門で経営の大規模化が図られている。

(採卵鶏の農家戸数は平成元年より300羽以上のみ、平成9年より1,000羽以上のみ、平成14年より種鶏農家除く。)

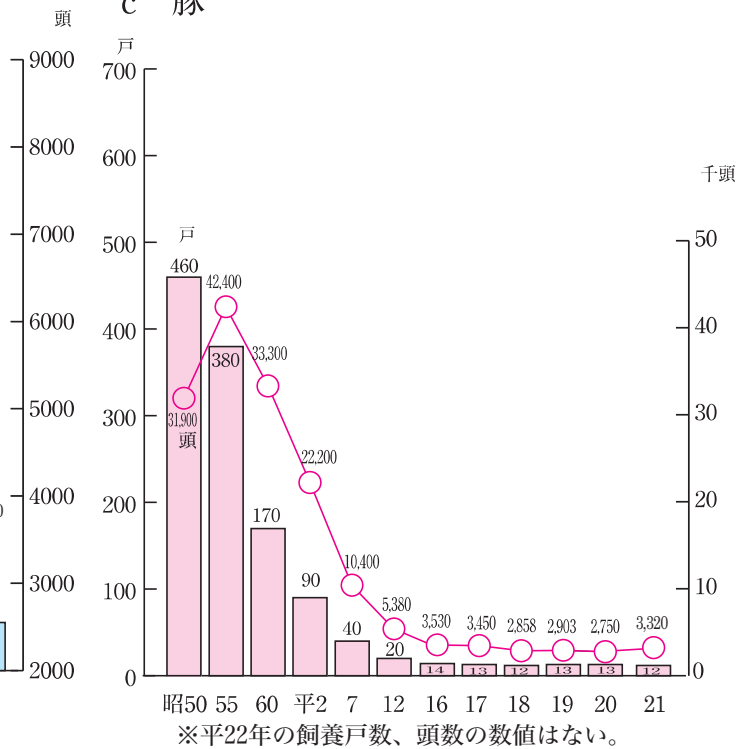
a 乳用牛



b 肉用牛



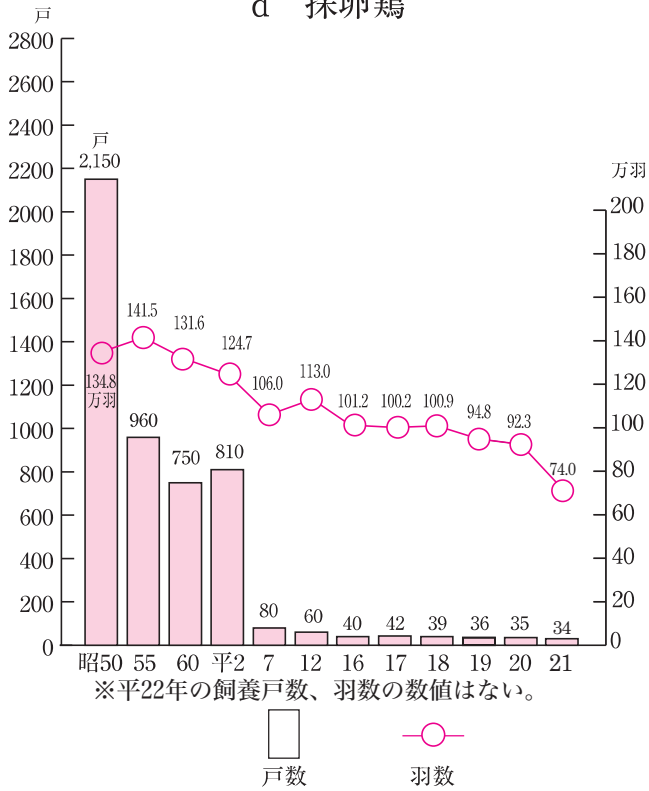
c 豚



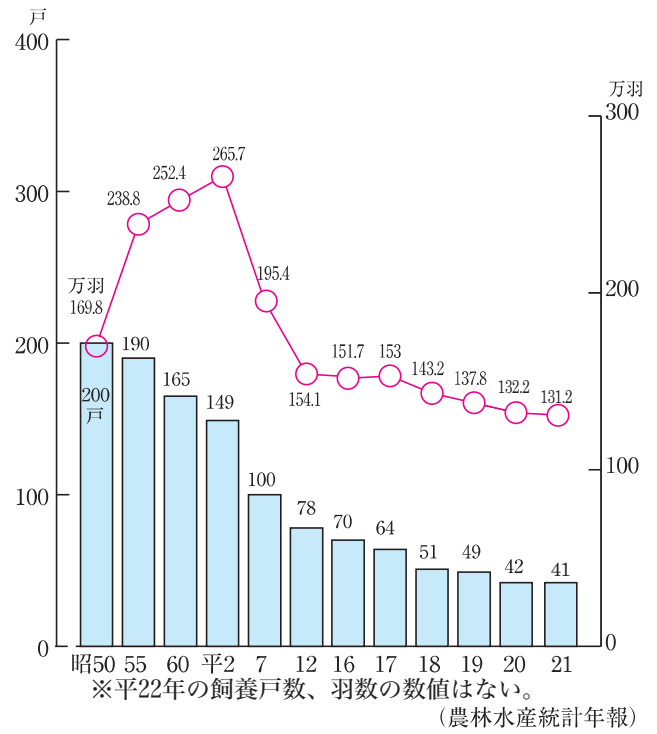
□ 戸数 ○ 頭数

(農林水産統計年報)

d 採卵鶏



e ブロイラー



(農林水産統計年報)

市町村別・家畜飼養頭羽数 (平22:乳用牛・肉用牛、平21:豚・採卵鶏 (成鶏めす))

乳用牛 (800頭)	古座川町 389頭 48.6%	紀の川市 93頭 11.6%	海南市 78頭 9.8%	その他 240頭 30.0%	
肉用牛 (3,610頭)	日高川町 740頭 20.5%	紀の川市 486頭 13.4%	和歌山市 281頭 7.8%	那智勝浦町 280頭 7.8%	その他 1,823頭 50.5%
豚 (3,320頭)	かつらぎ町 1,149頭 34.6%	和歌山市 1,083頭 32.6%	有田川町 488頭 14.7%	その他 600頭 18.1%	
採卵鶏 (成鶏めす) (659千羽)	橋本市 324千羽 49.2%	紀の川市 105千羽 15.9%	有田川町 60千羽 9.1%	その他 170千羽 25.8%	

(県畜産課業務資料)

		家畜の飼養頭羽数・戸数						
		全国	和歌山県			1位	2位	3位
		実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
飼養頭羽数	乳用牛(頭)	1,484,000	800	47	0.1	北海道	栃木	岩手
	肉用牛(頭)	2,892,000	3,610	43	0.1	北海道	鹿児島	宮崎
	豚(頭)	9,899,000	3,320	47	0.1	鹿児島	宮崎	茨城
	採卵鶏(千羽)	178,208	740	39	0.4	茨城	千葉	愛知
飼養戸数(戸)	乳用牛	21,900	17	47	0.1	北海道	岩手	栃木
	肉用牛	74,400	68	43	0.1	鹿児島	宮崎	岩手
	豚	6,890	12	45	0.2	鹿児島	宮崎	茨城
	採卵鶏	3,110	34	31	1.1	愛知	千葉	鹿児島

※乳用牛・肉用牛〔平22.2.1現在〕、豚・採卵鶏〔平21.2.1現在〕

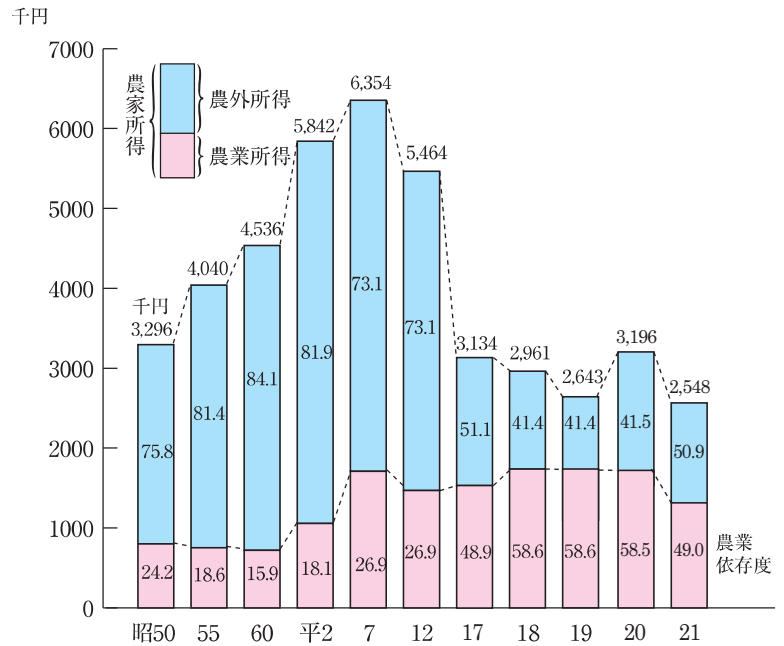
5) 農業所得と農業産出額

農業産出額はピークの平成3年で1,737億円となり、昭和45年に比べ3.0倍となっている。しかし、平成11年以降ピーク時の60~70%程度の産出額で推移している。

また、生産農業所得も同様の傾向で平成20年は417億円となり、農家所得の推移も平成8年をピークに減少傾向にある。

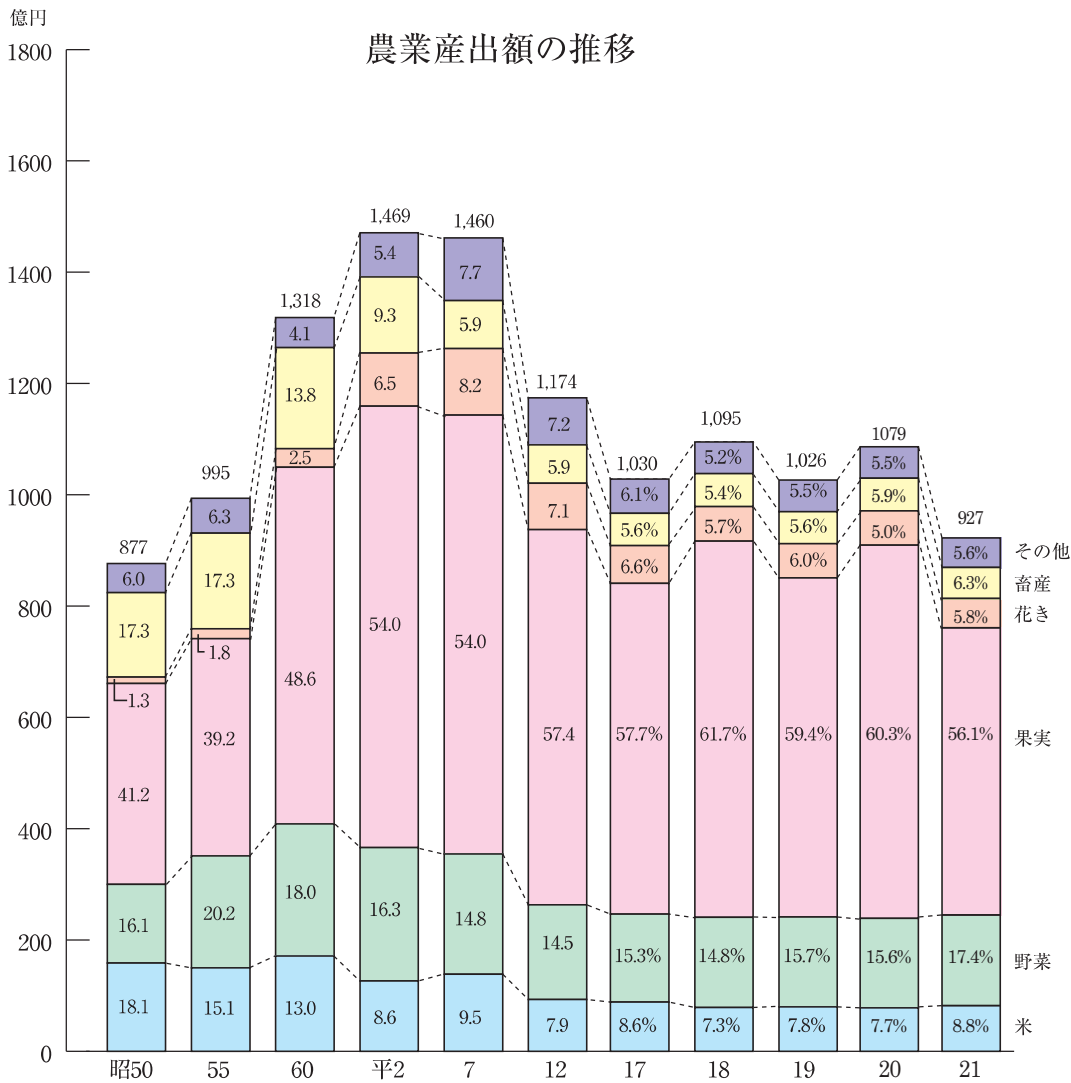
※本調査は、平成16年より調査対象及び調査内容が変更されていますので、ご利用の際はご注意ください。

農家所得の推移



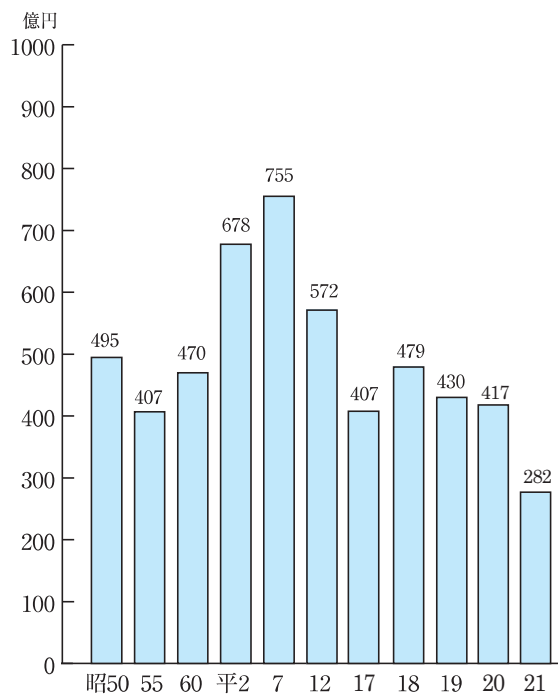
(農林水産統計年報)

農業産出額の推移



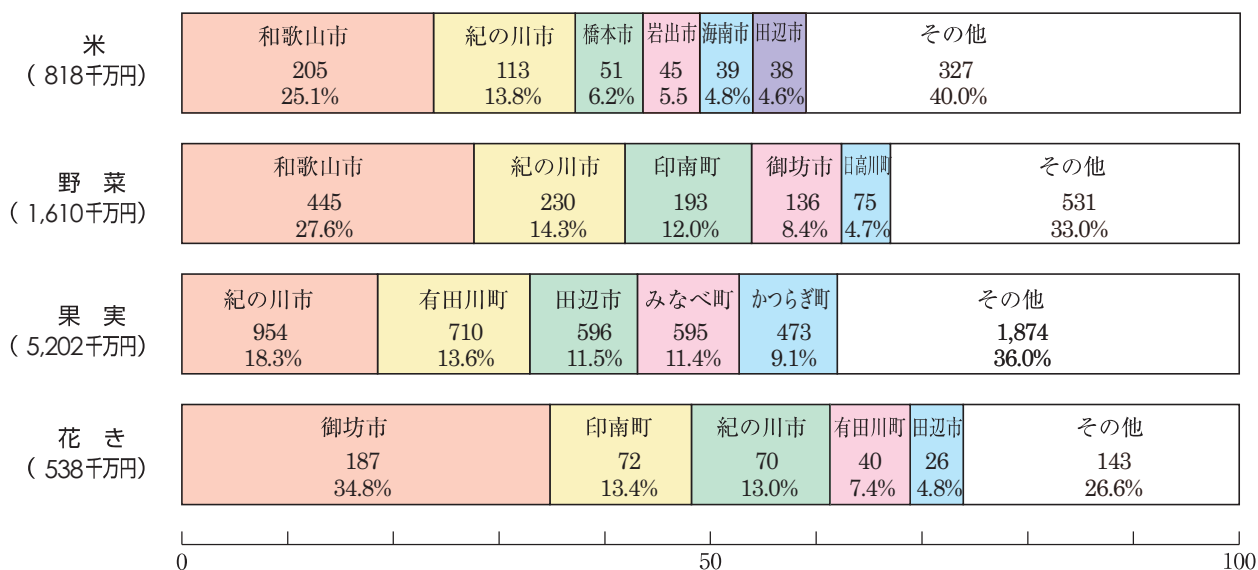
(農林水産統計年報)

生産農業所得（県計）の推移



(農林水産統計年報)

市町村別・部門別農業産出額（平21）



(市町村別統計検討協議会調べ)

農産物産出額上位10品目の推移

平成21年の農産物生産額を品目別にみると、「うめ」と「みかん」で全体の約34%を占めており、1位みかん、2位うめ、3位米、4位かき、5位ももとなっている。



0 50 100

6) 農業農村整備事業の基盤整備状況

農業農村整備事業における基盤の整備状況は、畑の農道整備49.4%、かんがい施設整備30.2%、区画整理6.1%で田の区画整理は14.8%となっている。整備済みの農業水利施設については、本格的な保全対策を進めています。

1 畑（果樹園・普通畑）の整備状況

項目	年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20
畑 面 積 (ha)		24,700	25,200	25,400	25,300	25,100	24,800
農道整備済み面積 (ha)		11,936	12,164	12,167	12,175	12,204	12,253
	整備率 (%)	48.3	48.3	47.9	48.1	48.6	49.4
畑地かんがい施設整備済み面積 (ha)		7,269	7,499	7,495	7,501	7,501	7,501
	整備率 (%)	29.4	29.8	29.5	29.6	29.9	30.2
区画整理済み面積 (ha)		1,513	1,516	1,516	1,516	1,520	1,520
	整備率 (%)	6.1	6.0	6.0	6.0	6.1	6.1

- ・農道整備済みとは、末端農道が整備された畑
- ・畑地かんがい施設整備済みとは、スプリンクラー等の施設が整備されている畑、及び、水源が確保され必要に応じて散水が可能な畑
- ・区画整理には、農地造成を含む

2 田の整備状況

項目	年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20
田 面 積 (ha)		11,800	11,700	11,400	11,200	10,900	10,700
区画整理済み面積 (ha)		1,540	1,554	1,588	1,588	1,588	1,588
	整備率 (%)	13.1	13.3	13.9	14.2	14.6	14.8

- ・区画整理には、30a未満の小区画を含む。

3 土地改良施設の整備状況

項目	年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20
農業水利施設延長 (km)		—	—	682	682	682	682
	保全対策済み延長	—	—	8	16	24	40
ため池の箇所数		5,566	5,566	5,566	5,566	5,566	5,566
	整備済み箇所数	984	1,014	1,051	1,090	1,115	1,136
	整備率 (%)	17.7	18.2	18.9	19.6	20.0	20.4
農業集落排水整備対象人口 (人)		67,102	64,019	63,388	62,742	61,878	45,003
	整備済み人口	35,257	35,833	40,857	41,045	43,302	43,250
	整備率 (%)	52.5	56.0	64.5	65.4	70.0	96.1
広域農道整備済み延長 (km)		64.6	64.6	64.6	65.8	66.9	68.0

- ・農業水利施設延長は、県営事業以上で造成された幹線施設延長
- ・広域農道の整備済み延長は供用開始済みの延長

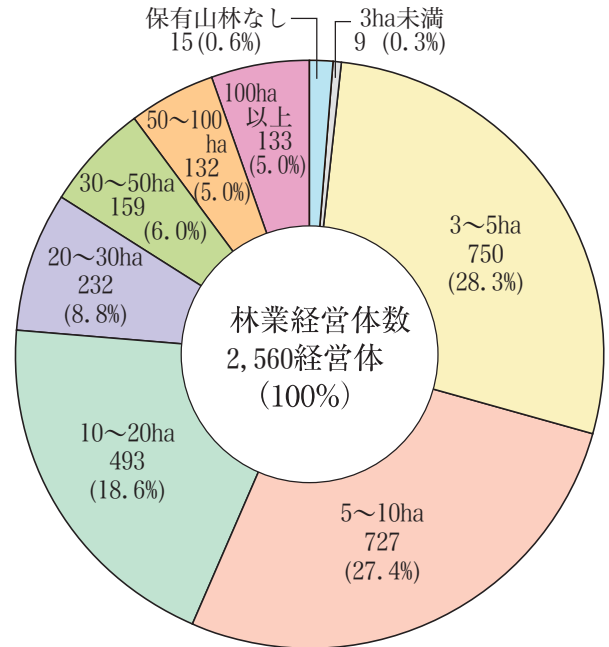
2 林業部門

1) 林業を担う経営体（林業経営体）

本県の林業経営体数は、2,650経営体となっており、保有山林規模別では、10ha以下の経営体が総数の56%を占め、規模の小さな経営体が多い。

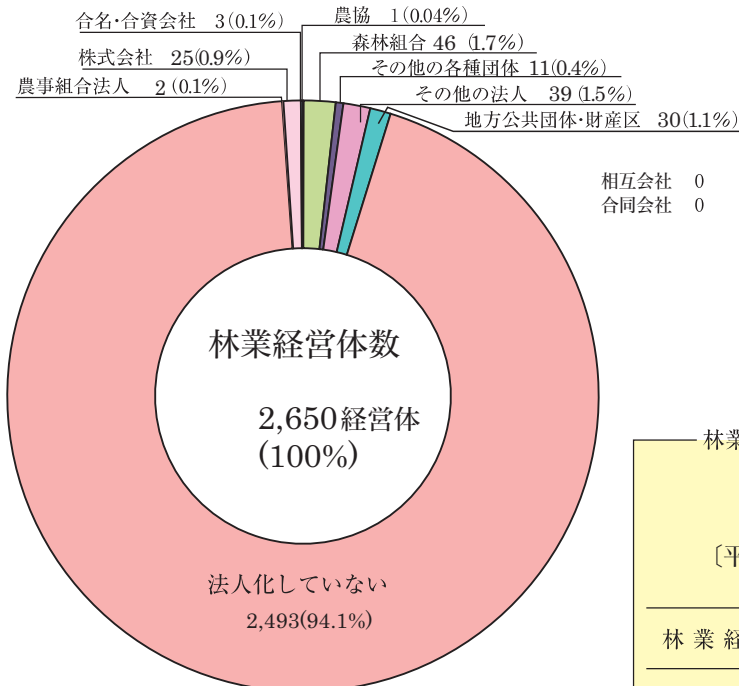
また、組織形態別では、法人化していない経営体が94%を占めている。

保有山林規模別林業経営体数



(2010年世界農林業センサス)

組織形態別経営体数



(2010年世界農林業センサス)

林業経営体数

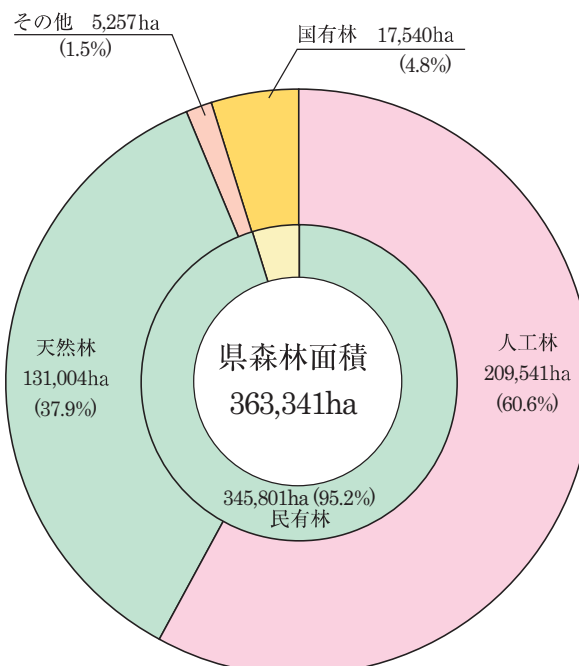
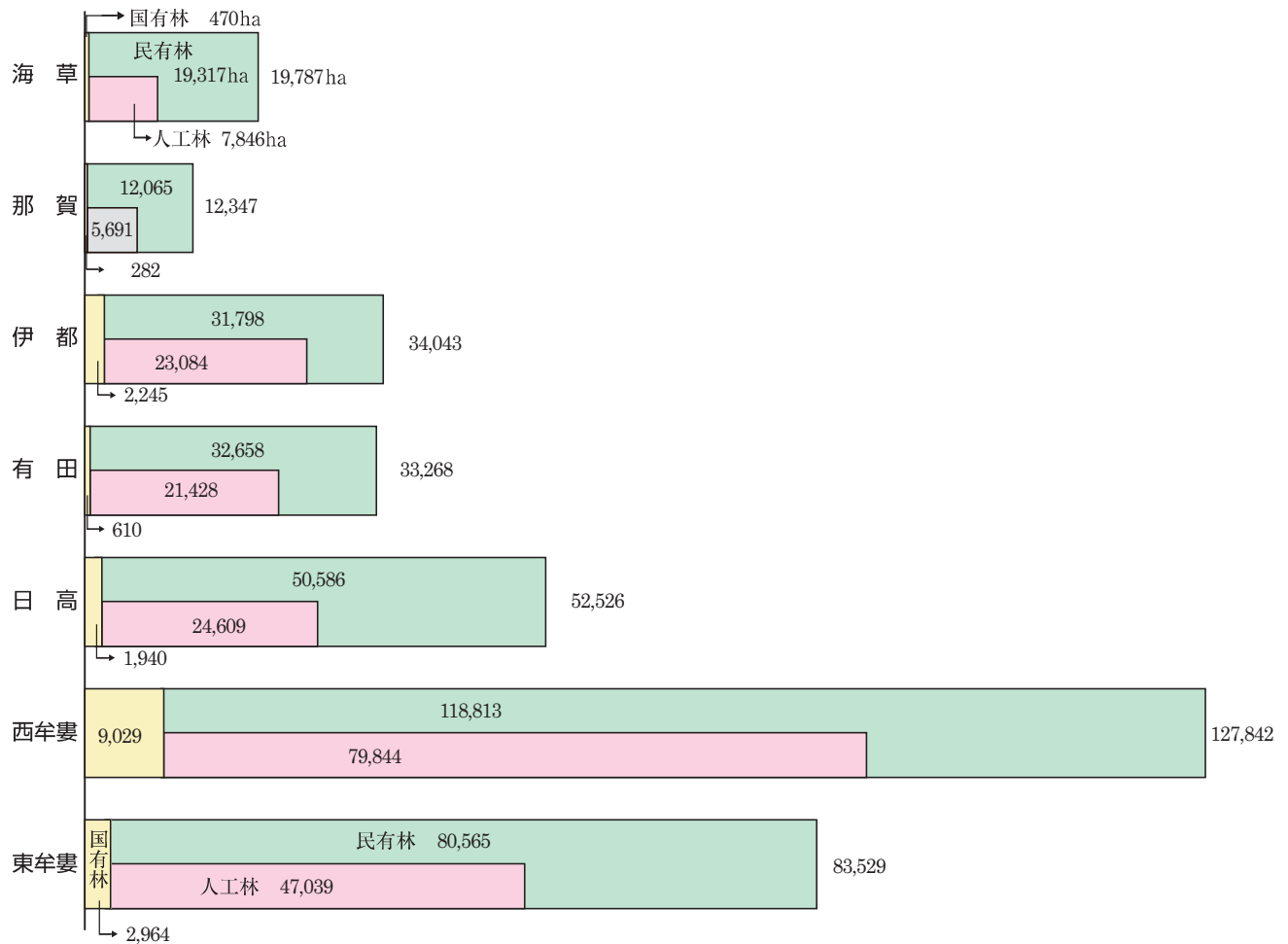
[平22]	全国	和歌山県		1位	2位	3位	
	実数	実数	順位	シェア (%)	県名	県名	県名
林業経営体数	140,186	2,650	24	1.9	北海道	岩手	岐阜

(2010年世界農林業センサス)

2) 森林資源・林業生産基盤

郡別・森林面積（平22.4.1現在）

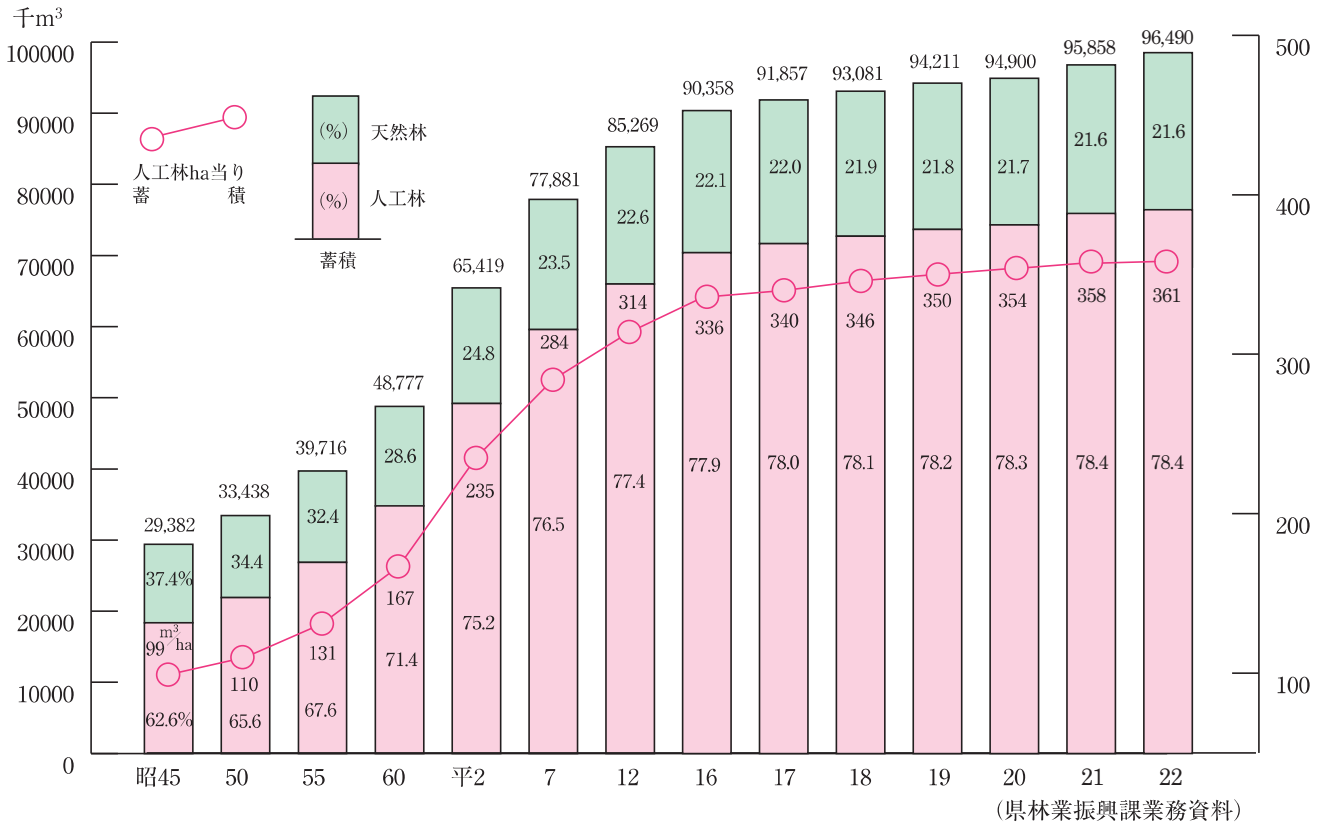
県の森林面積363,341haのうち、国有林は4.8%、民有林は95.2%で、民有林のうち、人工林は60.7%である。



(県林業振興課業務資料)

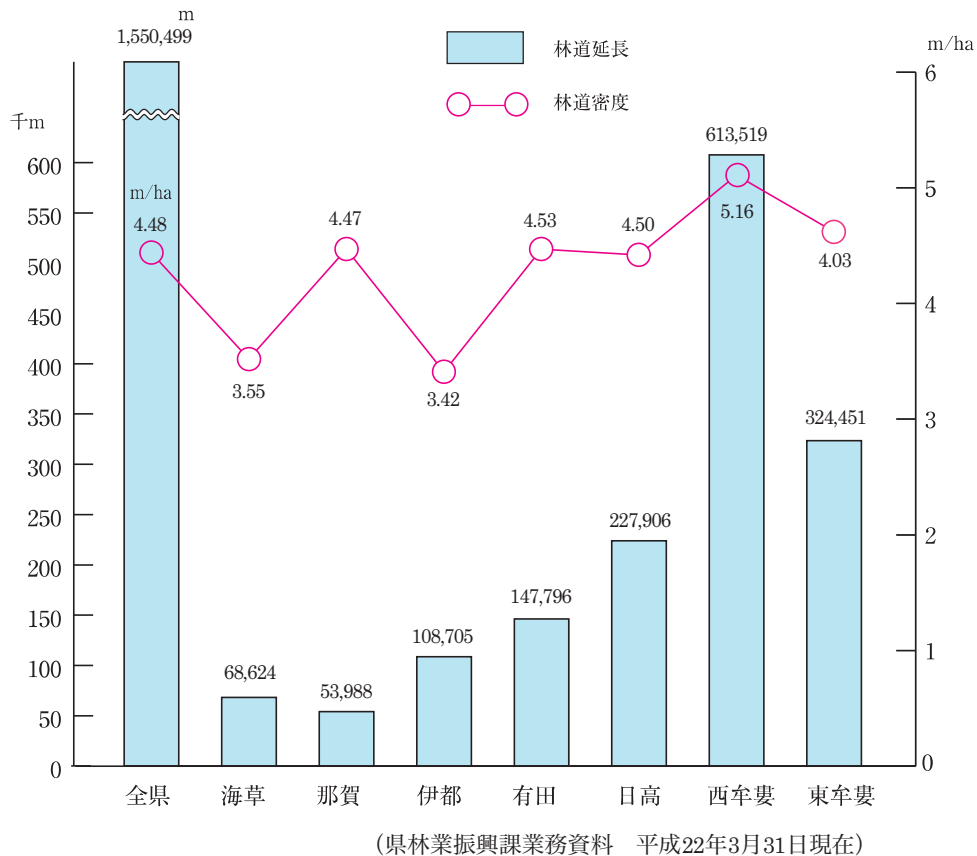
森林資源（私有林蓄積）の推移（地域森林計画対象森林：345,269ha）

戦後植林された森林資源が成熟しつつある。



郡別私有林林道延長及び林道密度（平22.3.31現在）

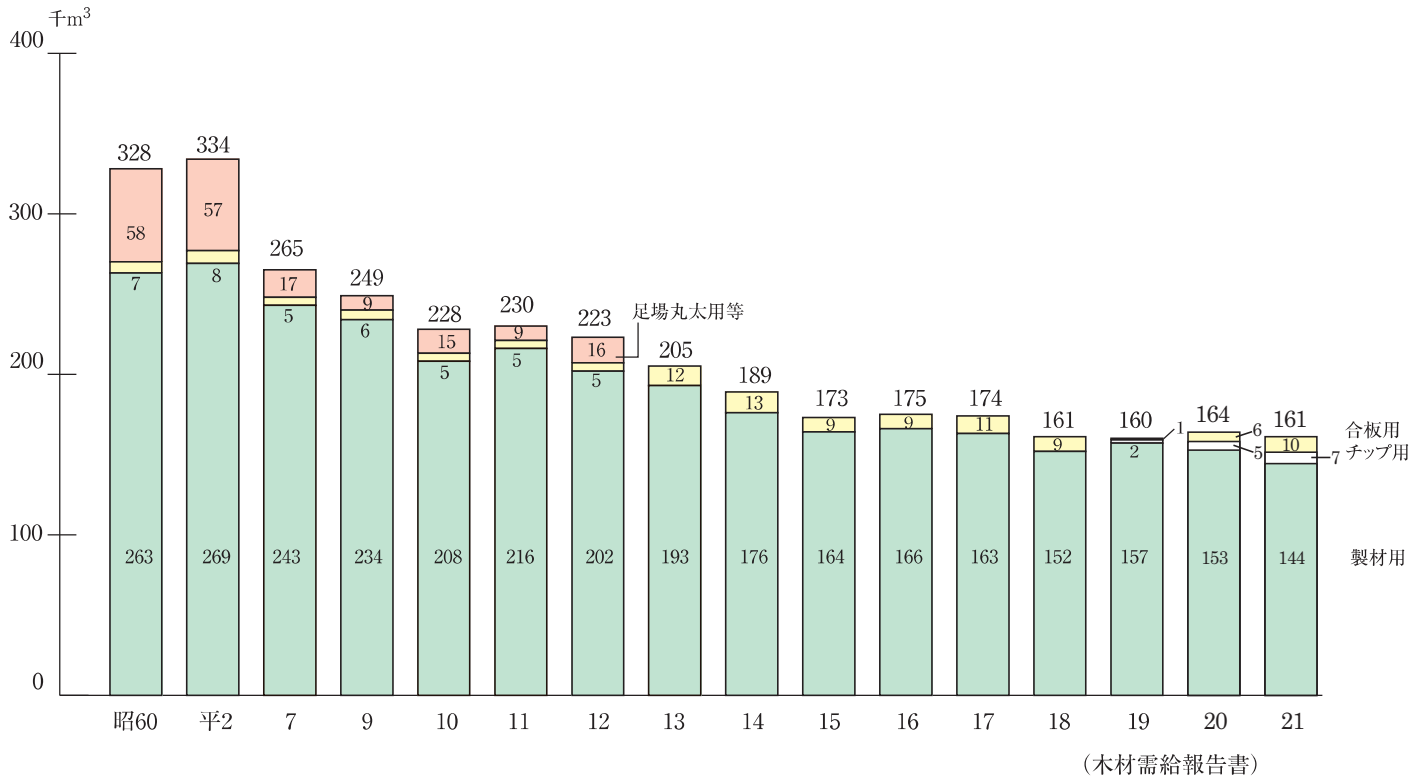
生産コストの縮減をはかるため、林道密度を高める必要がある。



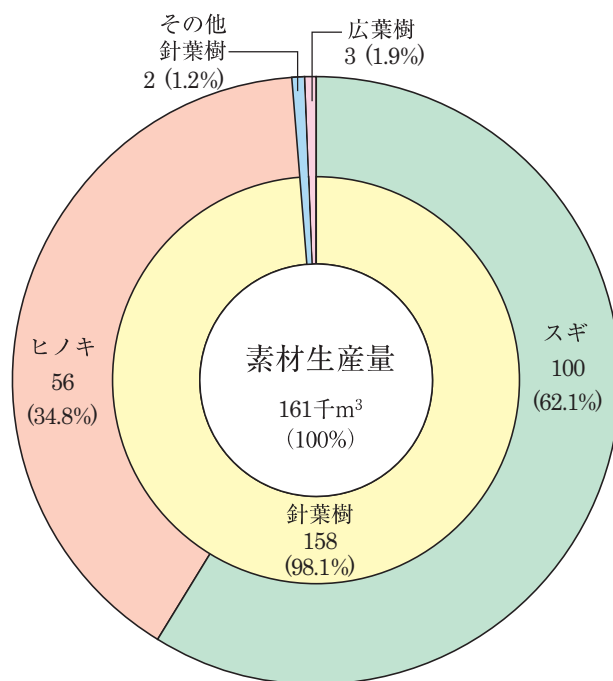
3) 林業生産

近年の木材生産活動は木材価格の低迷等から停滞している。
 一方、最近では輸入製品価格の高騰などから、国産材の需要が高まりつつある。

用途別素材生産量の推移

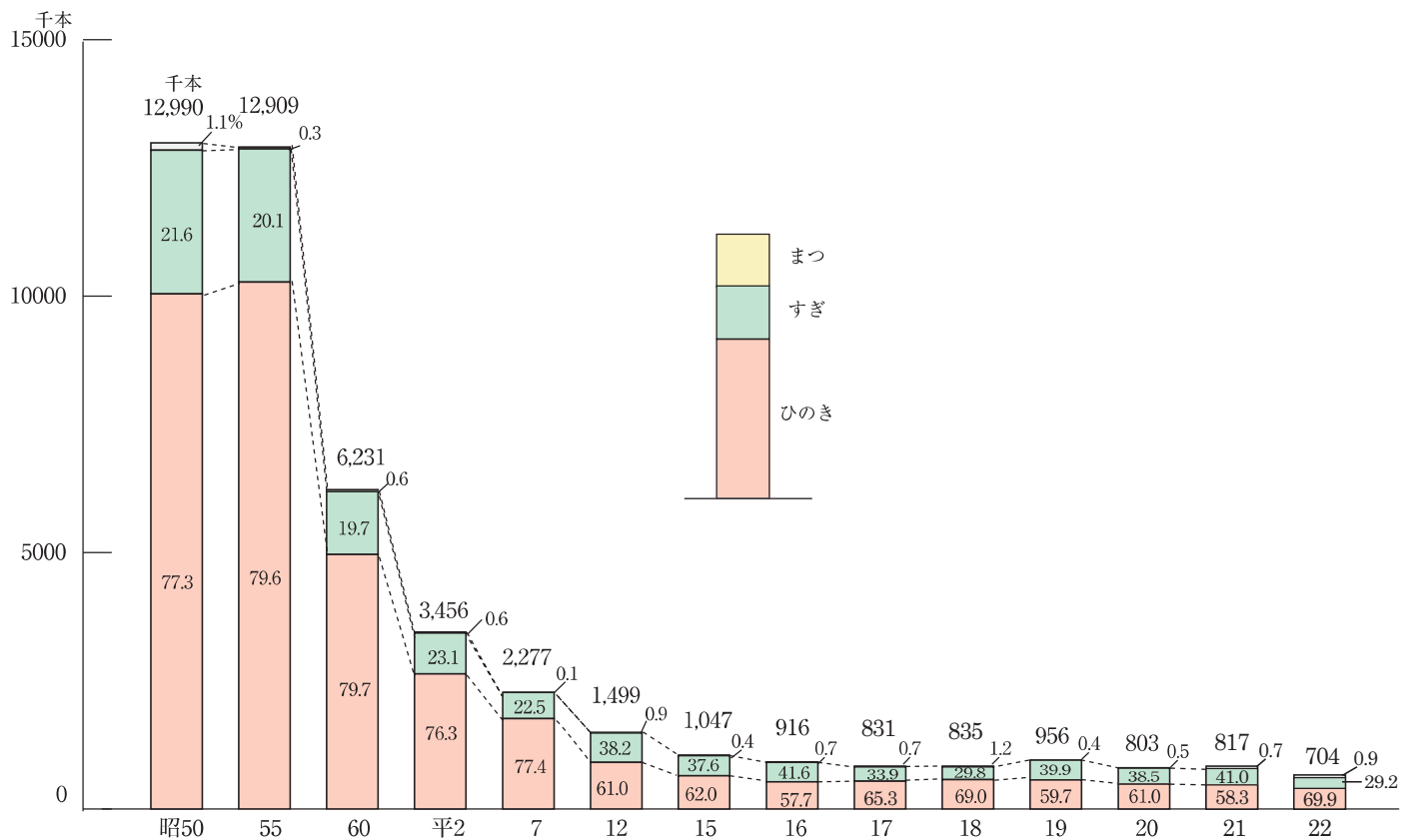


樹種別素材生産量 (平21)



(木材需給報告書)

山用種苗生産本数の推移

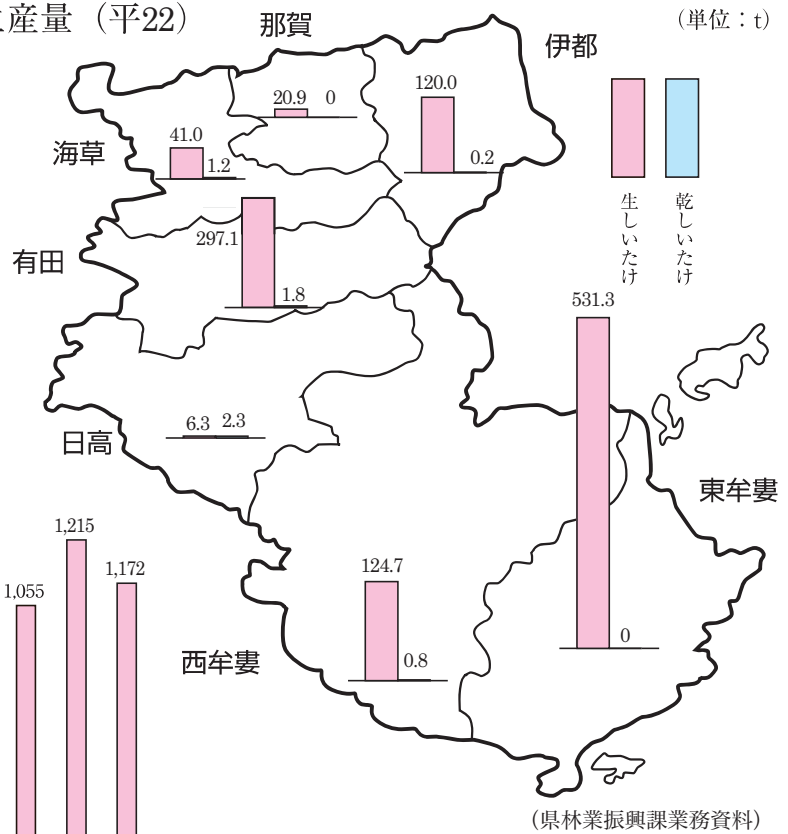


(県森林整備課業務資料)

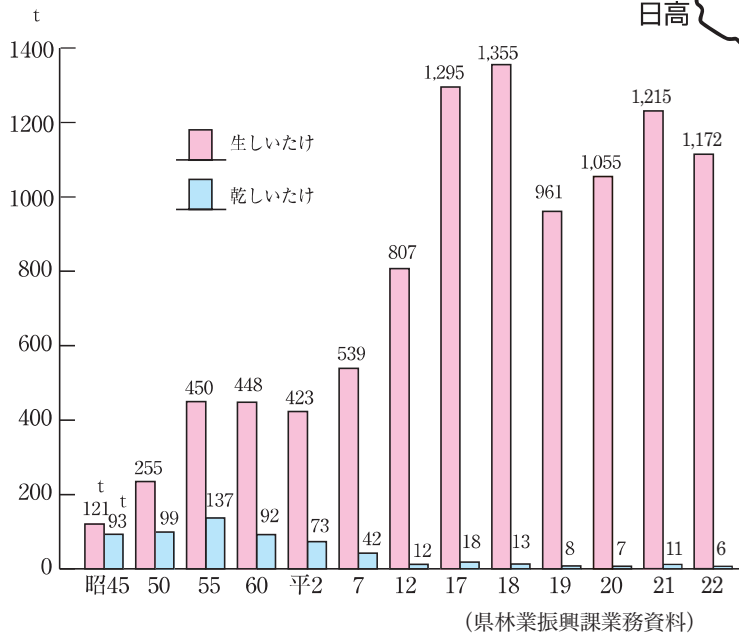
素材生産量

[平21]		全国	和歌山県		1位	2位	3位	
		実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
素材生産量	合計(千m ³)	16,619	161	27	1.0	北海道	宮崎	岩手
	針葉樹	13,976	158	27	1.1	北海道	宮崎	岩手
	すぎ	8,263	100	24	1.2	宮崎	秋田	大分
	ひのき	1,957	56	13	2.9	愛媛	岡山	熊本
	広葉樹	2,643	3	3	0.1	北海道	岩手	広島

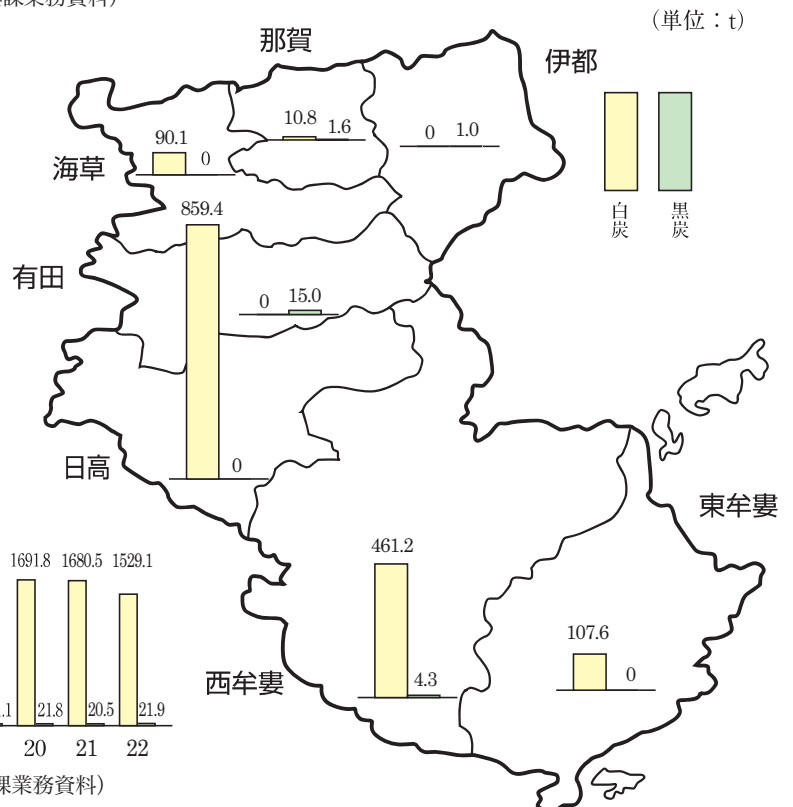
郡別・しいたけ生産量（平22）



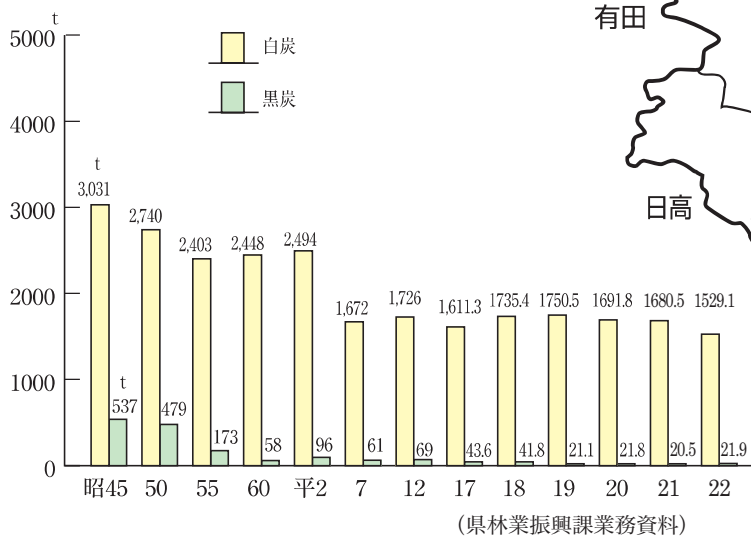
しいたけ生産量の推移



郡別・木炭生産量（平22）

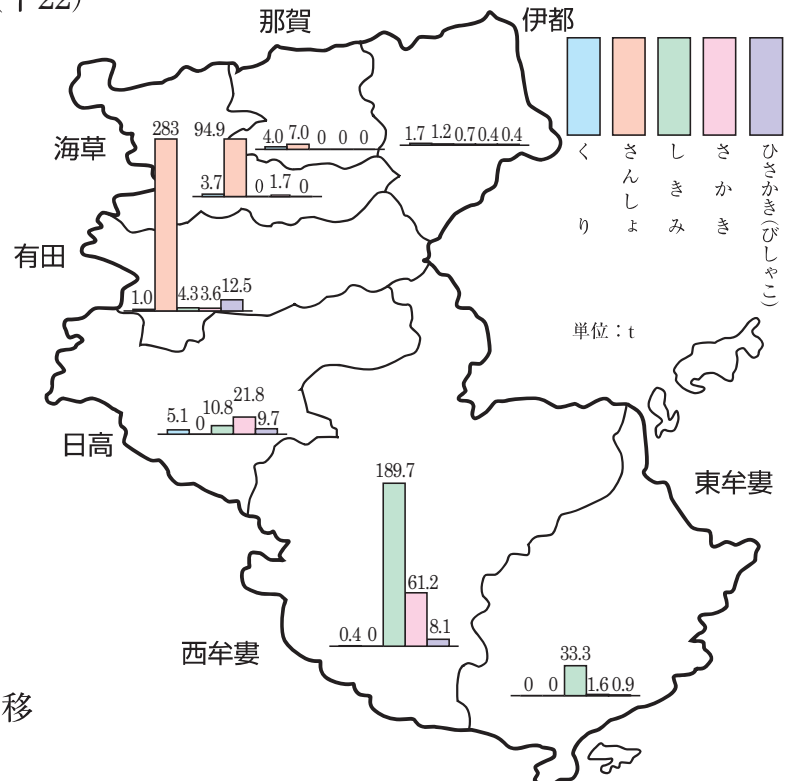


木炭生産量の推移

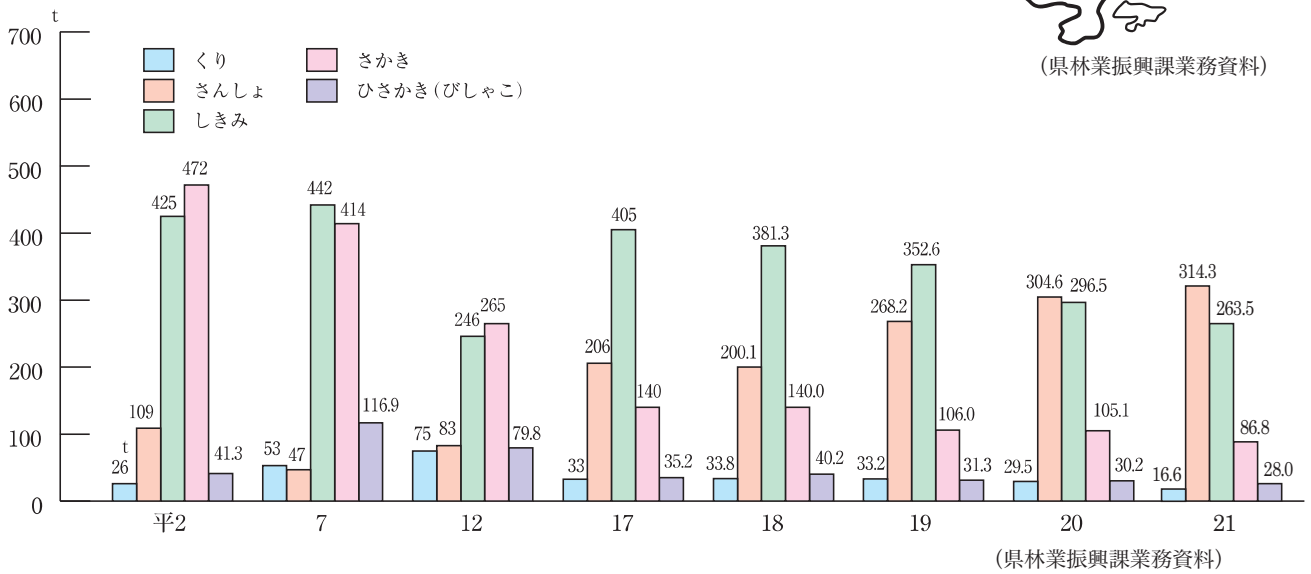


山村での主収入であった林業が低迷する中、副収入源であった特用林産物の収入に占める割合が増加してきた。

郡別・その他特用林産物生産量（平22）



その他の特用林産物生産量の推移



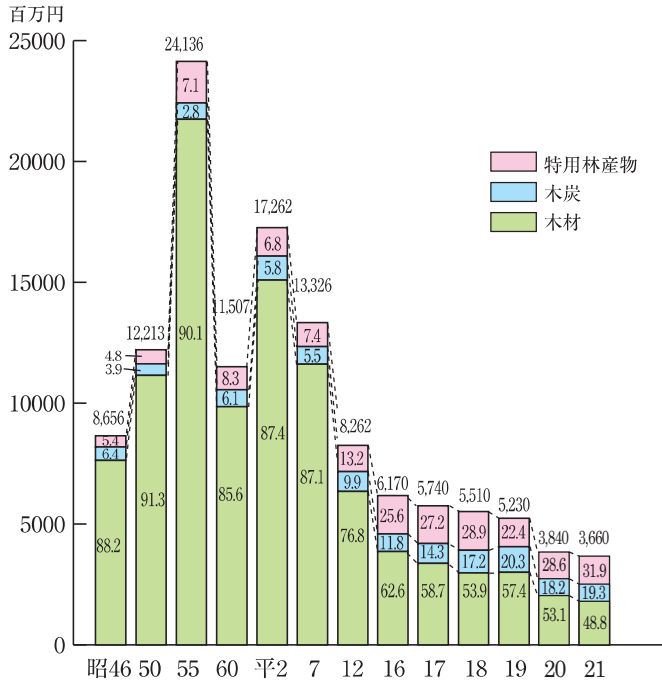
特用林産物生産量

[平21] (t)	全国	和歌山県		1位	2位	3位	
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
乾しいたけ	3,596.5	11.3	27	0.3	大分	宮崎	熊本
生しいたけ	75,015.7	1,214.8	19	1.6	徳島	北海道	岩手
白炭	3,541	1,681	1	47.5	和歌山	高知	宮崎
黒炭	11,703	21	41	0.2	岩手	北海道	福島

4) 林業所得と林業産出額

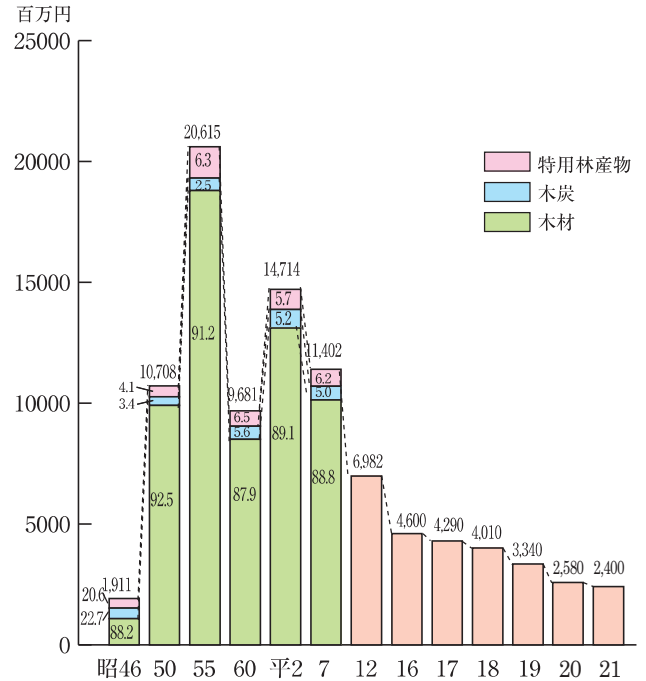
素材価格がピークであった昭和55年を契機に年々減少してきている。

林業産出額の推移



(生産林業所得統計報告書)

生産林業所得額の推移



(生産林業所得統計報告書)

※H10から内訳の計上がされていない

※枠内の数字はパーセントを表す

生産額

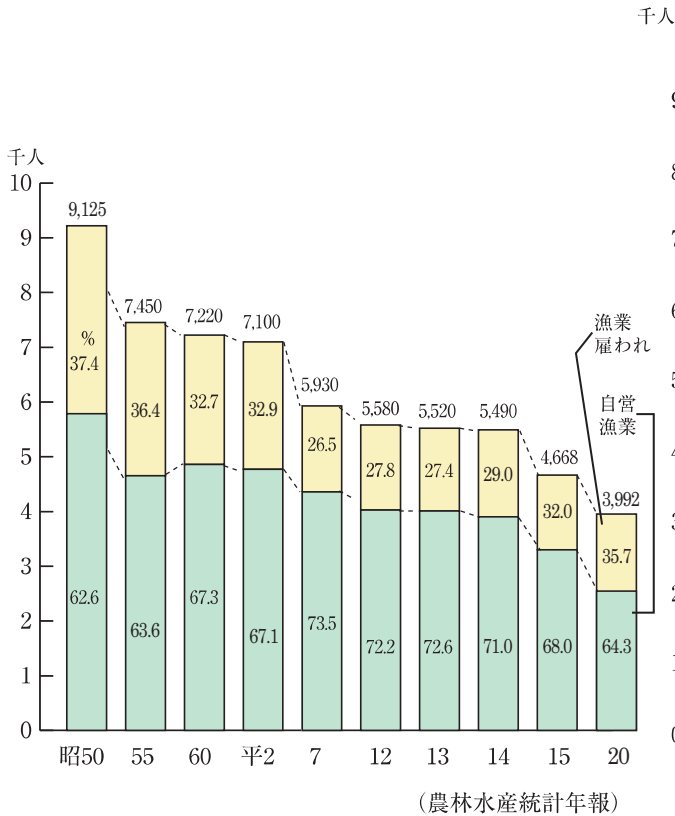
〔平21〕 (千円)		全国	和歌山県		1位	2位	3位	
		実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
林業	総計	41,222	366	29	0.9	長野	北海道	新潟
	産出額	木材生産	18,607	179	27	1.0	北海道	宮崎
生産林業所	総計	21,930	240	29	1.1	長野	北海道	宮崎

3 水産部門

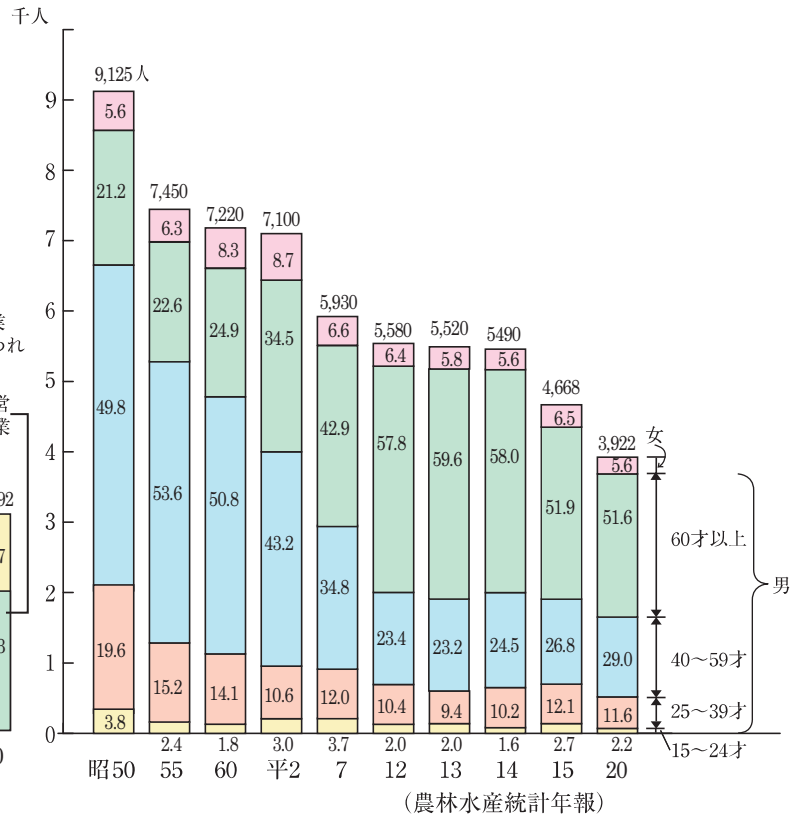
1) 水産業を担う人々

漁業就業数は減少傾向で推移しており平成20年の漁業就業者数は3,922人である。
 また、自営漁業就業者のうち年齢別では60才以上の男子就業者が51.6%を占め高齢化が進んでいる。

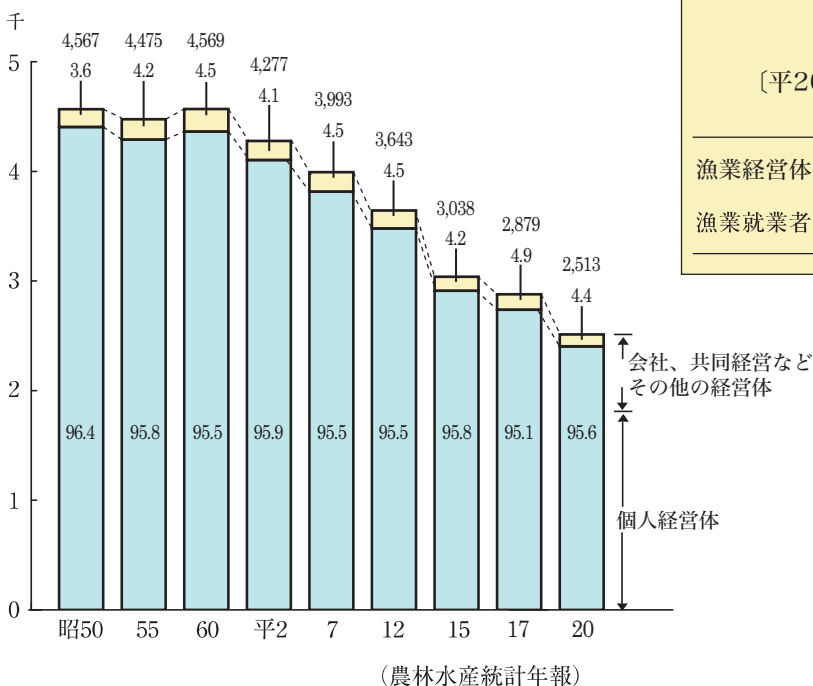
漁業就業者数の推移



年齢区分別漁業就業者数の推移



漁業経営体数の推移



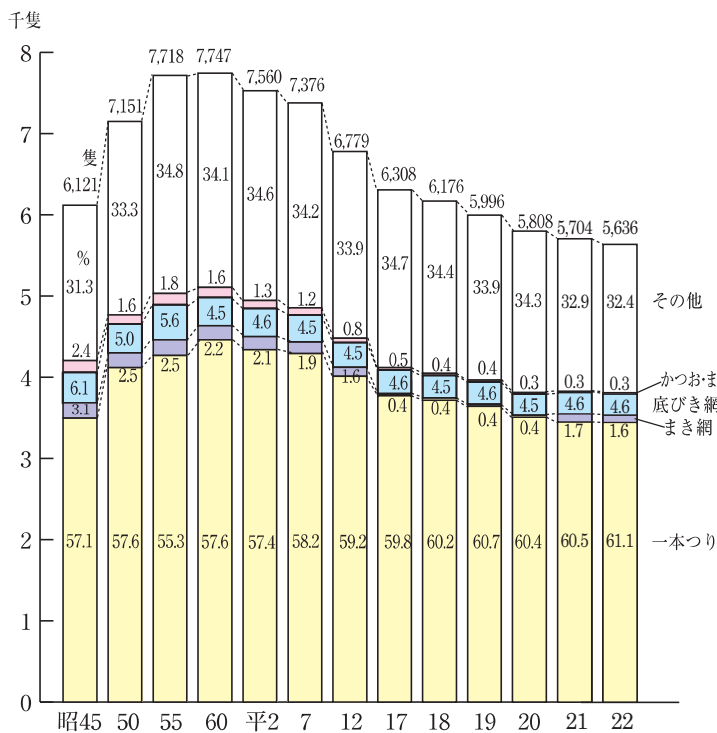
漁業経営体数等

〔平20〕	全国	和歌山県	1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア (%)	県名
漁業経営体数	115,196	2,513	20	2.2	北海道 長崎 岩手
漁業就業者数(人)	221,908	3,922	22	1.8	北海道 長崎 青森

2) 水産業の基盤

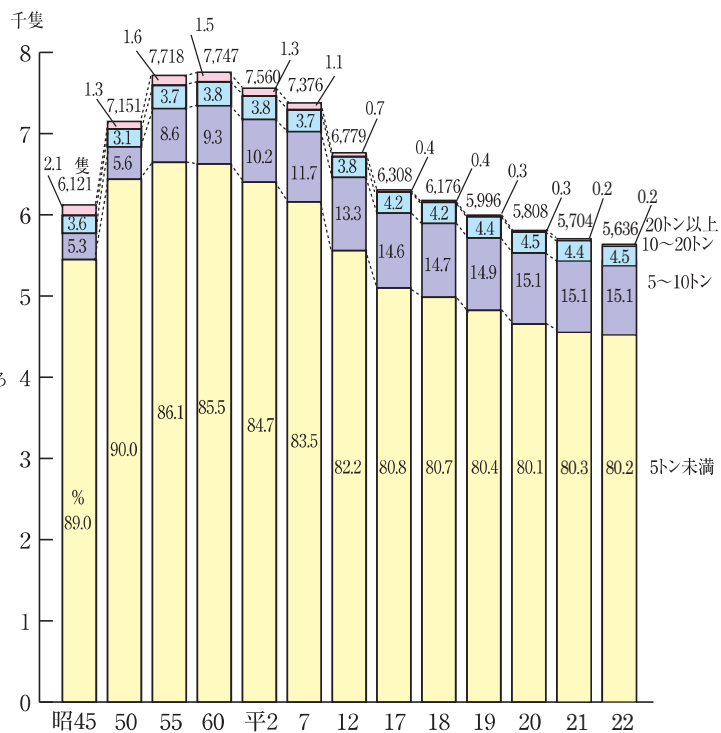
海水動力漁船数は昭和60年をピークに減少傾向で平成22年12月末日現在では5,636隻となっている。漁業種類別では「一本つり」が61.1%、「底びき網」4.6%である。トン数別では5t未満の小型漁船が80.2%と大半を占めている。

漁業種類別海水動力漁船数の推移



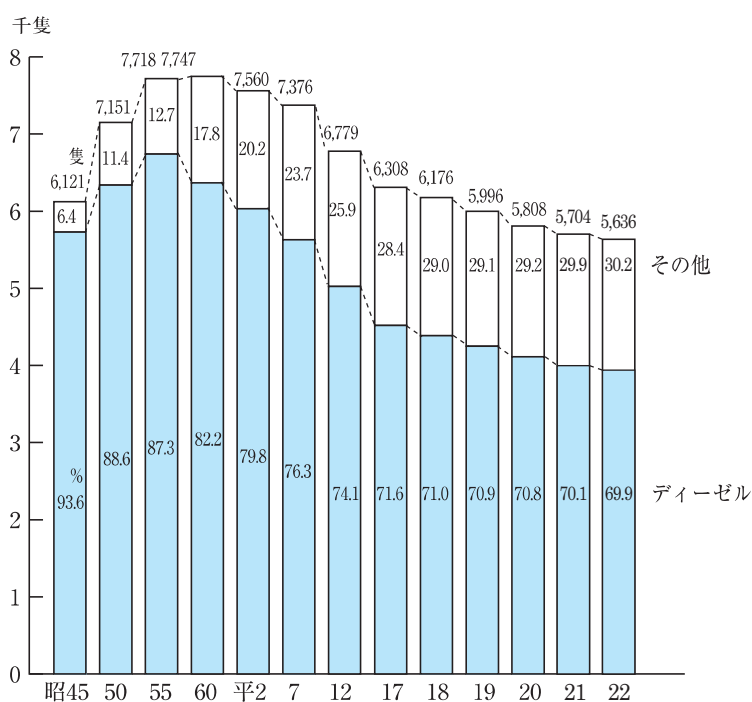
(県漁船統計表)

トン数階層別海水動力漁船数の推移



(県漁船統計表)

機関種類別海水動力漁船数の推移



(県漁船統計表)

漁港の現況

本県には、94港（全国2,916港）の漁港と、122地区（全国4,686地区）の漁業集落がある。また、漁港の種類は、漁船の利用範囲によって下表のように分類されている。

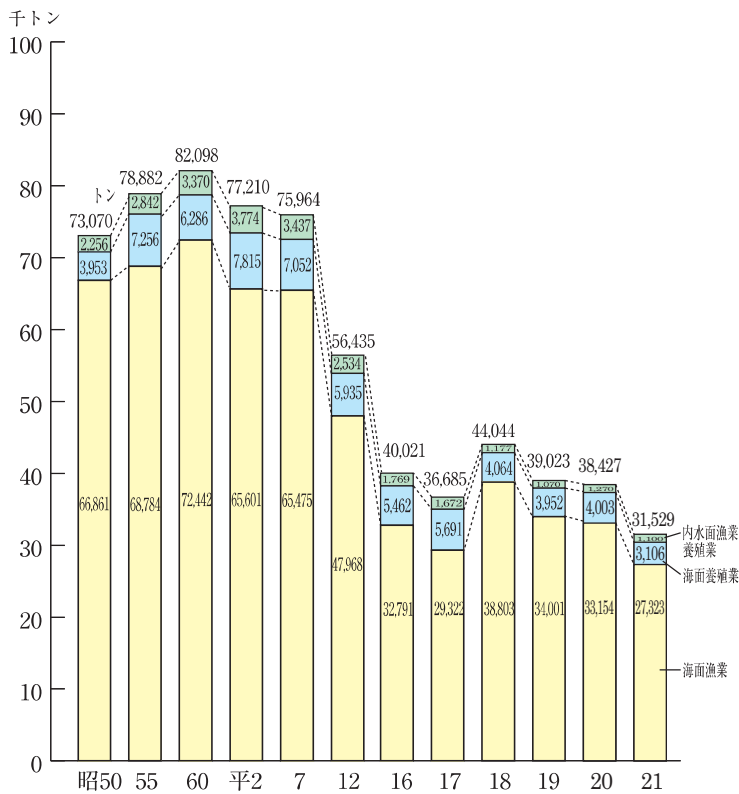
種別	漁港合計	分類の説明
第1種漁港	77	利用範囲が地元の漁業を主とするもの
第2種漁港	11	利用範囲が1種より広く3種に属さないもの
第3種漁港	4	利用範囲が全国的なもの
第4種漁港	2	漁船の避難上特に必要なもの
港合計	94	

3) 水産業の生産

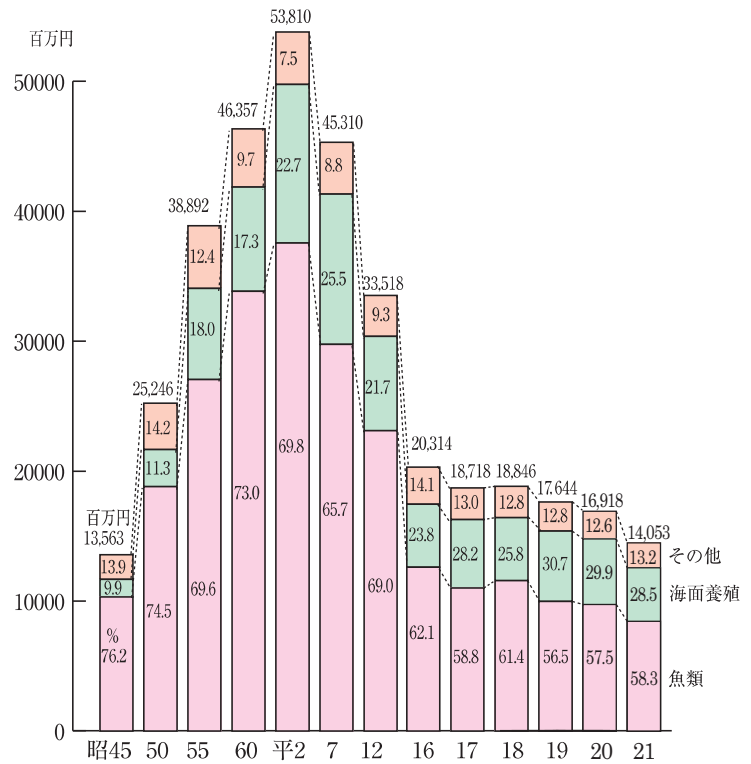
漁業・養殖業の生産量は昭和60年の82,098 t をピークに減少傾向にあり、平成21年は31,527tとなっている。

海面漁業・養殖業生産額は平成2年をピークに減少傾向で平成21年は140億53百万円でピーク時の26.1%となっている。

漁業・養殖業部門別生産量の推移



海面漁業・養殖業生産額の推移



— 漁 獲 量 —

〔平21〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位	
	(t)	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
海面漁業	4,147,374	27,323	27	0.66	北海道	長崎	宮城
魚類	3,172,934	24,754	27	0.78	北海道	長崎	宮城
えび・かに・いか・たこ	393,701	1,454	30	0.37	北海道	青森	岩手
貝類	400,845	98	37	0.02	北海道	愛知	三重
海藻類	104,103	630	13	0.61	北海道	愛知	青森
海面養殖業	1,202,072	3,106	24	0.26	北海道	宮城	広島

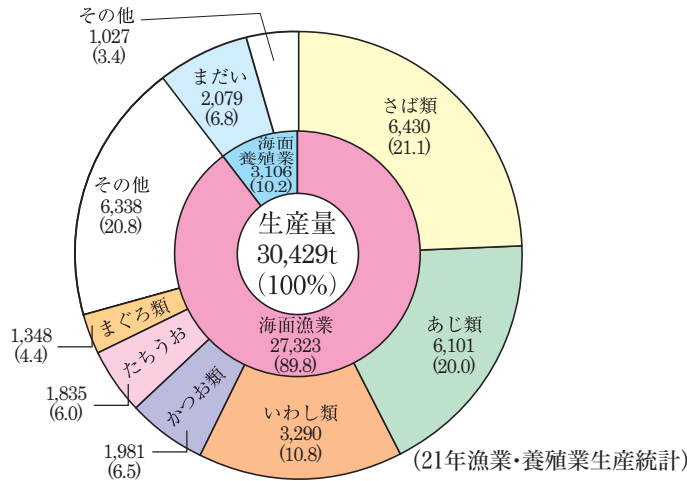
— 生 産 額 —

〔平21〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位	
	(百万円)	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
海面漁業	974,192	10,044	27	1.05	北海道	長崎	静岡
海面養殖業	409,497	4,009	23	1.21	北海道	愛媛	鹿児島

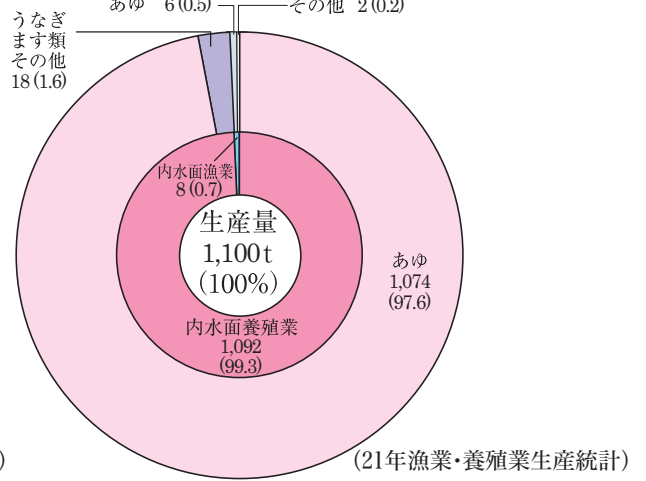
4) 主な魚種別漁獲量・生産額の推移

平成21年の魚種別の生産量は、海面漁業では、さば類21.1%、あじ類20.0%、かつお類6.5%、たちうお類6.0%となっている。海面養殖業ではまだいが66.9%を占め、内水面漁業・内水面養殖ではあゆが98.2%となっている。

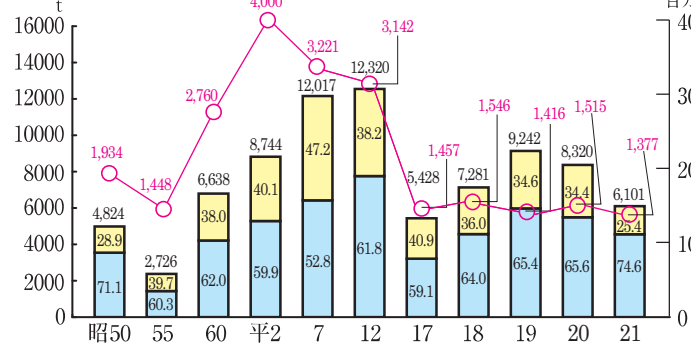
海面漁業、養殖業魚種別生産量（平21）



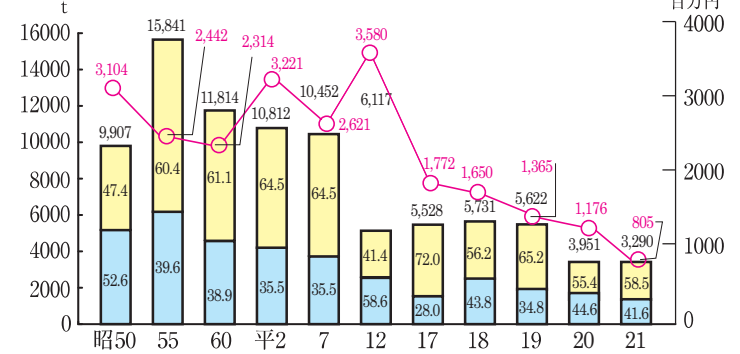
内水面漁業、養殖業魚種別生産量（平21）



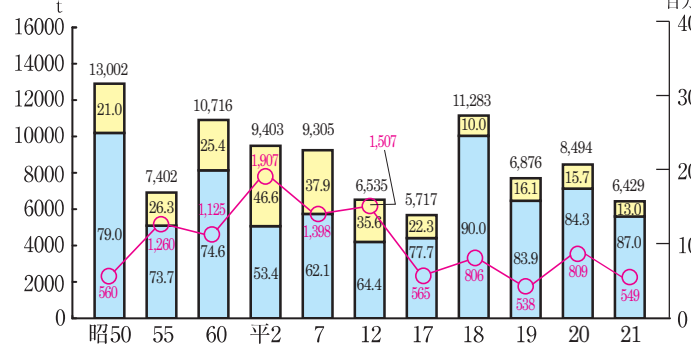
あじ類



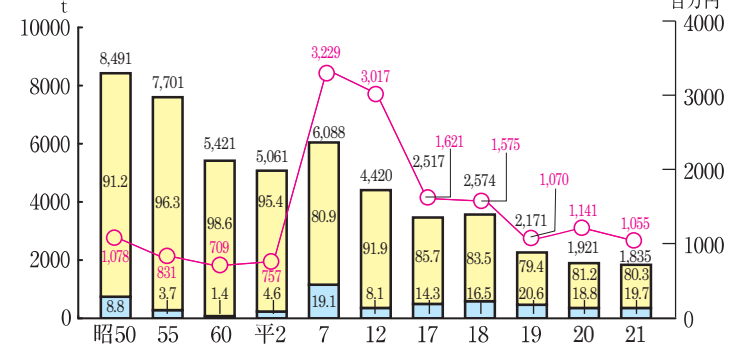
いわし類



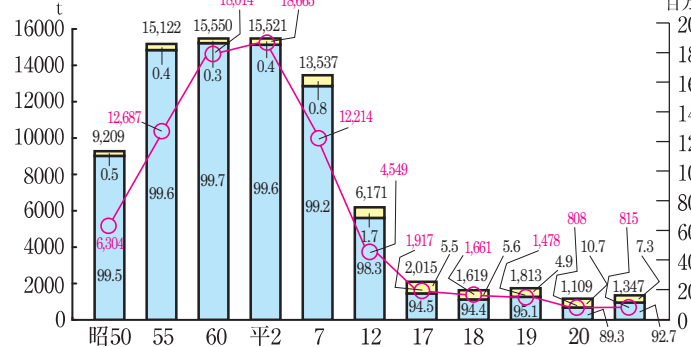
さば類



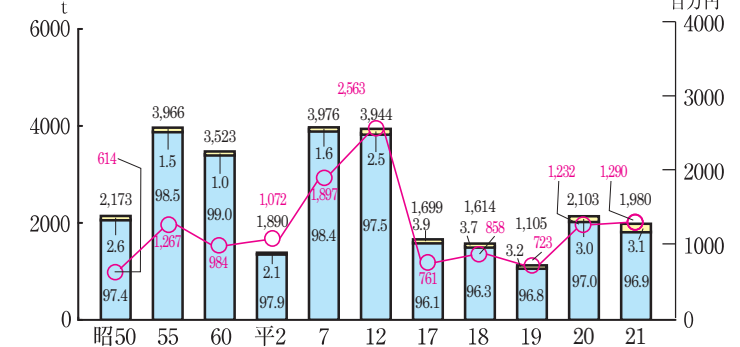
たちうお



まぐろ類



かつお類



漁獲量

瀬戸内海区

太平洋南区

生産金額(百万円)

(農林水産統計年報)

農林水産関係施策を行っている主な課室

農 林 水 産 部

課 室 名		業 務 概 要	電話番号	メールアドレス
農林水産政策局	農林水産総務課	農林水産業振興施策の総合的企画・調整・検査	073-441-2863	e0701002@pref.wakayama.lg.jp
	工事検査室	農林水産関連の工事検査	073-441-2867	
	食品流通課	農産物をはじめとする県産品の販路拡大・流通対策、輸出対策	073-441-2811	e0717001@pref.wakayama.lg.jp
	農業農村整備課	土地改良法関係、施設管理、農業農村整備の計画・調整、農業基盤・農村環境・農地の保全施設等の整備	073-441-2943	e0705002@pref.wakayama.lg.jp
農業生産局	果樹園芸課	農産物の生産振興、農業技術・経営の指導	073-441-2900	e0703001@pref.wakayama.lg.jp
	農業環境・鳥獣害対策室	環境保全型農業、肥料・農薬の適正使用、鳥獣害対策、適正狩猟の推進	073-441-2905	e0703002@pref.wakayama.lg.jp
	畜産課	畜産業振興のための企画・指導・支援	073-441-2920	e0704001@pref.wakayama.lg.jp
	経営支援課	農協等の指導、金融支援、農業の構造改善、都市農村交流の推進、農業の担い手確保・育成、農地の利活用	073-441-2880	e0709001@pref.wakayama.lg.jp
森林・林業局	林業振興課	林業振興のための企画・指導、紀州材の需要拡大山村資源の活用、山村地域の生活環境整備	073-441-2960	e0706001@pref.wakayama.lg.jp
	森林整備課	森林の造成・保全、山地災害の防止、森林・緑の活用促進、紀の国森づくり基金の活用	073-441-2972	e0707001@pref.wakayama.lg.jp
	全国植樹祭推進課	平成23年春季開催の全国植樹祭の開催準備	073-441-2984	e0718001@pref.wakayama.lg.jp
水産局	水産振興課	水産業振興のための企画・指導・支援等	073-441-3000	e0710001@pref.wakayama.lg.jp
	資源管理課	水産資源の管理・保護、漁業取締・調整・許可等	073-441-3010	e0715001@pref.wakayama.lg.jp

他部局関係課室

企 画 部

課 室 名		業 務 概 要	電話番号	メールアドレス
地域振興局	過疎対策課	過疎地域の自立促進 わかやま田舎暮らしの企画・調整 子ども農山漁村交流の企画・調整	073-441-2426	e0222001@pref.wakayama.lg.jp

環 境 生 活 部

課 室 名		業 務 概 要	電話番号	メールアドレス
県民局	食品・生活衛生課	食品安全確保、食品保健の推進、水道水の安全・安定供給、生活衛生の維持向上、動物と共生する社会づくり	073-441-2635	e0316001@pref.wakayama.lg.jp

県 土 整 備 部

課 室 名		業 務 概 要	電話番号	メールアドレス
道路局	道路建設課	道路（農林道を含む）の整備	073-441-3091	e0802001@pref.wakayama.lg.jp
河川・下水道局	下水道課	生活排水施設の整備促進、農業集落排水の整備	073-441-3203	e0814001@pref.wakayama.lg.jp
港湾空港局	漁港整備室	漁港・漁港海岸の整備、漁村環境の整備	073-441-3023	e0825002@pref.wakayama.lg.jp



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
農産物												
みかん	■								■			
うめ					■							
かき	■								■			
もも						■						
えんどうまめ	■									■		
しょうが					■				■	■		
林産物												
さんしょ					■							
みょうが							■					
せんりょう											■	
水産物												
まぐろ	■											■
かつお		■										
たちうお						■						
いせえび	■										■	

県の花

うめ



梅はバラ科に属し、古くから紀南地方を中心に栽培されています。2月から3月にかけて美しい花を咲かせ、香りもすばらしく、春を告げる花として親しまれています。

県の鳥

めじろ



メジロ科、日本特有の小鳥で本県に多く、古くから県民に親しまれています。ウグイス、ヤマガラなどとともに、保護鳥に指定されています。

県の木

うばめがし



ブナ科の常緑樹で、紀南地方に特に多く見られます。高温多湿を好みますが、耐乾性も強く生命力の強い木として知られています。紀州備長炭の原木です。

県の魚

まぐろ



サバ科に属し、なかでもクロマグロが代表的。樺太、北海道以南、フィリピンにまで分布し、刺身として極めて美味しくトロは有名。クロマグロは全長3mに達します。